

Smart Scanner S500



取扱説明書










安全にご使用いただくために








本製品を安全にご使用いただくために、次のような表示をしています。

表示内容をよく理解してから本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡、または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的障害のみの発生が想定される内容を示しています。

以下の内容をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。

 警告	
	<p>万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常が発生したときは、すぐに電源を切り、ダイアグコネクタからカプラを抜いてください。また、バッテリーから電源を供給している時は、バッテリー端子からクリップをはずし、販売店または当社(ユーザーサポート係)に修理を依頼してください。</p> <p>そのまま使用及びお客様による修理は危険ですので絶対にしないで下さい。、</p>
	分解や改造をしないで下さい。火災の原因となります。
	濡らさないで下さい。火災や感電の原因となります。
	異物や水などが内部に入った場合は、そのまま使用しないで下さい。火災や感電の原因となります。すぐに電源を切り販売店または当社(ユーザーサポート係)にご連絡ください。
	<p>液晶が破損した場合、中の液晶には十分注意してください。</p> <p>目に入った、皮膚に付着した際は、すぐに水で洗い流してください。</p> <p>万一、異常がある場合はすぐに医師に相談してください。</p>
	<p>表示されている電源(DC12V)以外は使用しないで下さい。</p> <p>火災の原因になります。</p>
	<p>ACアダプタはS500専用以外に使用しないで下さい。</p> <p>火災や感電の原因となります。</p>

 注意																	
	各種ケーブルは取扱説明書で指示された以外の配線をしないで下さい。 火災の原因や、車両側配線システムの故障の原因になる恐れがあります。																
	車両側ダイアグコネクタのカプラ接続や取り外しは、キースイッチを切った状態で行ってください。キースイッチがONの状態で行うと故障の原因となります。																
	不安定な場所に置かないで下さい。落ちてけがをする恐れがあります。																
	オンライン動作中や診断ソフトの動作中に電源スイッチを切るとデータが破壊をしたり、故障の原因となることがあります。																
	ケーブルを抜くときは、引っ張らないで下さい。ケーブルが傷つき故障や火災の原因になります。																
	<p>次のような場所に置かないで下さい。火災や感電または故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となることがあります。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td>湿気や誇りの多い場所</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td>直射日光や照明光が直接あたる場所</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td>熱器具の近く</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td>湿度変化の激しい場所</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6</td> <td>極端に低温になる場所</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">7</td> <td>磁石、スピーカーなど磁気の発生するものの近く</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">8</td> <td>振動が強い場所</td> </tr> </tbody> </table>	1	湿気や誇りの多い場所	2	調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所	3	直射日光や照明光が直接あたる場所	4	熱器具の近く	5	湿度変化の激しい場所	6	極端に低温になる場所	7	磁石、スピーカーなど磁気の発生するものの近く	8	振動が強い場所
1	湿気や誇りの多い場所																
2	調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所																
3	直射日光や照明光が直接あたる場所																
4	熱器具の近く																
5	湿度変化の激しい場所																
6	極端に低温になる場所																
7	磁石、スピーカーなど磁気の発生するものの近く																
8	振動が強い場所																

目次









S500本体	
1.付属品の確認.....	7
2.各部名称.....	8
3.接続方法.....	9
4.基本操作方法.....	10
診断の前に必ず行ってください。.....	12
カブラの選択.....	14
5.自己診断の操作方法.....	15
自己診断(例:日産).....	16
フリーズ・フレーム・データ (共通カブラ対応車両のみ).....	18
エンジン診断記録.....	19
6.データ表示の操作方法.....	20
データ表示 (例:日産).....	21
比較・登録について.....	22
7.データ記録の操作方法.....	24
参考値記録方法.....	25
マニュアル記録方法.....	30
記録データ表示方法.....	31
8.アクティブ・テストの操作方法.....	32
WRITE-III	
1. ソフトの入手方法.....	37
2.「WRITE-III」のインストール.....	37
3.「WRITE-III」使用方法.....	39
3-1 S500とパソコンの接続.....	39
3-2 S500本体の準備.....	42
3-3 バージョンアップ、新規ソフトファイルの解凍.....	43
3-5 WRITE-IIIの操作.....	44
4.「WRITE-III」のアンインストール(削除).....	55

付録	56
展開ウィザード (ZIPファイルの解凍Windows XPの場合).....	56
1.S500 プリンターの説明	59
各部名称.....	59
印刷方法.....	60
充電方法.....	60
2.PC SCANNERの説明	61
3.セット内容	61
注意事項.....	61
4.インストール/アンインストール方法	62
プログラムの削除方法.....	63
5.S500との接続方法	64
6.PC SCANNERを起動する前に	67
7.PC SCANNERの操作	68
S500よりモニターデータの読み込み.....	70
S500より参考値データの読み込み・削除.....	79
パソコンよりS500へ参考値書き込み.....	83
保証.....	85
免責事項.....	85

1.付属品の確認

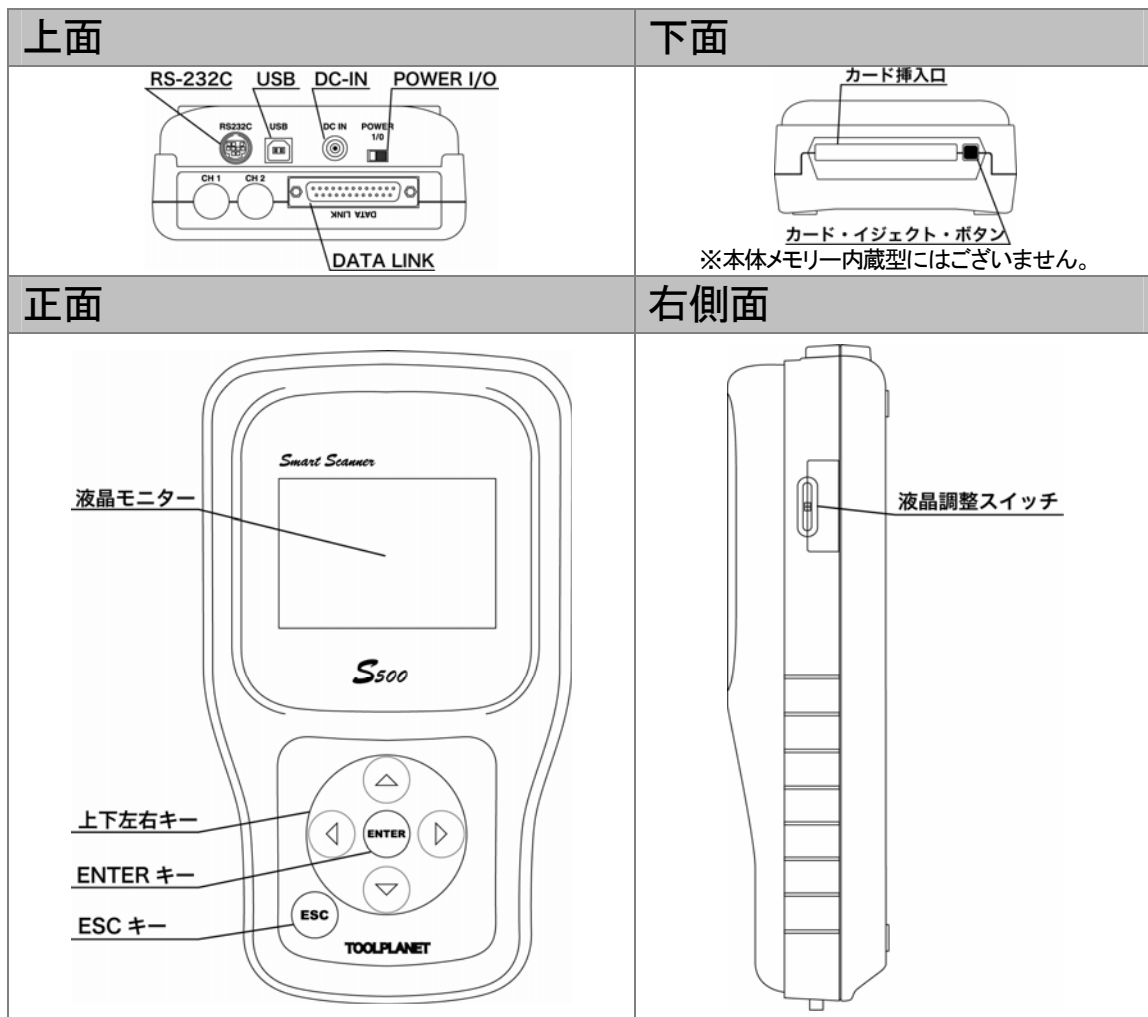
下記の製品が全て揃っているかお確かめください。

製品の不足や、搬送中におきたと思われる破損があった場合は、お手数ですが、直ちに販売店または当社(ユーザーサポート係)までご連絡ください。

S500-BU S500本体	S500-OBDM-C OBDⅢ 共通ケーブル	USB-CABLE パソコン接続ケーブル	S500-CC ハードケース
			
S500-AC-C AC 電源アダプター	S500-DC-C 電源ケーブル	S500-MANUAL 取扱説明書(CD-ROM)	ユーザー登録用紙
			

※サポート契約書はユーザー登録書でサポートを“受ける”とされた場合に後日郵送されます。

2.各部名称



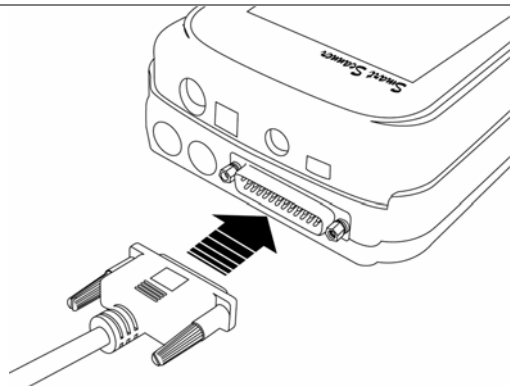
	名称	機能説明
上面	RS-232C	RS-232C ケーブルを接続し、PC 又はプリンターと接続します。
	USB	USB ケーブルを接続し、パソコンに接続します。
	DC-IN	電源ケーブルを接続する場合に電源アダプターを接続します。
	POWER I/O	本体の電源操作を行います。
	DATA LINK	車両と接続する場合に、共通ケーブルを接続します。
下面	カード挿入口	データ・カード(診断ソフト)を挿入します。 ※現在はカード・カード挿入口はありません。
正面	カード・イジェクト・ボタン	データ・カード(診断ソフト)を取り出すときに押し取り出します。
右側面	液晶調整スイッチ	液晶濃度の調整をスライドさせて使用します。

3.接続方法

DIAGNOSIS CARD は、表裏を間違えないように、一番奥まで、差し込みます。
※ソフト内臓型の場合はカードがありませんので必要ありません。



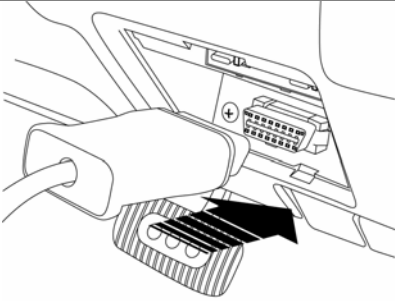

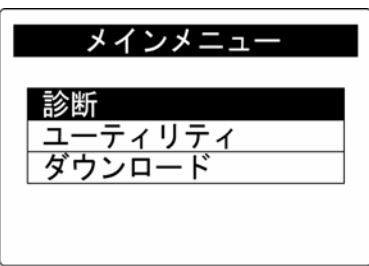
共通ケーブルは上下間違えないように挿し、ボルトで固定します。





4.基本操作方法

本取扱説明書は、日産を例として編集してあります。

(メーカーにより対応していない項目もあります。)

<p>1.</p>	<p>本体に[DIAGNOSIS CARD]を挿入し、ダイアグカプラを車両に接続します。</p>	
<p>2.</p>	<p>車両のキースイッチを“ON”、またはエンジンを始動します。</p>	<p style="text-align: center;">注意:[DIAGNOSIS CARD]は電源を入れた状態で脱着しないでください。</p>
<p>3.</p>	<p>S500本体の電源スイッチを“ON”にします。</p>	
<p>4.</p>	<p>右のような初期画面が表示されましたら、ENTER キーで実行します。</p>	
<p>5.</p>	<p>「メインメニュー」画面が表示されます。 診断 が選択されている事を確認後、ENTER キーで実行します。</p>	


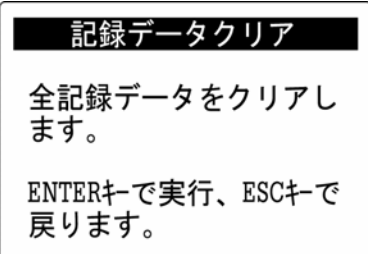
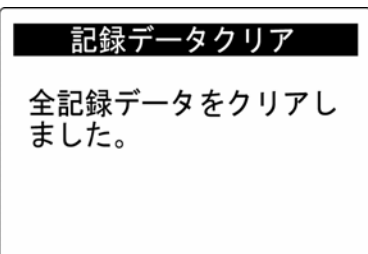
6.	実行したいメーカーを ▲▼ キーで選択し、 ENTER キーで実行します。	
7.	診断ソフトの画面が表示され、約2秒後自動的にメイン・メニューに変わります。	


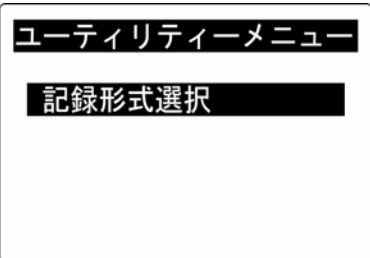
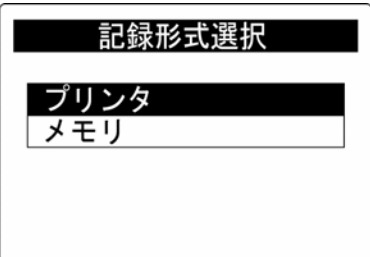
診断の前に必ず行ってください。

1. 作業前の記録データのクリア

2. 記録形式の選択

1.作業前の記録データのクリア

<p>1-1</p>	<p>「メインメニュー」画面で最初に▲▼キーで 記録データクリア を選択し、ENTER キーで実行します。</p>	 <p>メインメニュー 記録データクリア 診断 オンライン ユーティリティ</p>
<p>1-2</p>	<p>ENTER キーで、実行します。 ESC キーで戻ります。</p>	 <p>記録データクリア 全記録データをクリアします。 ENTERキーで実行、ESCキーで戻ります。</p>
<p>1-3</p>	<p>「全記録データをクリアしました。」というメッセージが表示され、「メインメニュー」に戻ります。</p>	 <p>記録データクリア 全記録データをクリアしました。</p>

2.記録形式の選択		
2-1	<p>「メイン・メニュー」の画面で最初に▲▼キーで</p> <p>ユーティリティー を選択し、ENTER キーで実行します。</p>	
2-2	<p>次に 記録形式選択 を ENTER キーで、実行します。</p>	
2-3	<p>「記録形式選択」画面では▲▼キーで プリンタ か メモリ かを選択し、ENTER キーで、実行します。</p> <p>実行すると「メイン・メニュー」に戻ります。</p>	

カプラの選択

「メイン・メニュー」から「診断」を選択すると、「カプラの選択」画面が表示されます。

1.	<p>「カプラの選択」画面では ▲▼ キーで選択し、ENTER で決定します。</p>	
2.	<p>車両と通信します。 通信が終了し、画面が「対応システムメニュー」にかわります。</p>	
3.	<p>「対応システム・メニュー画面」が表示されます。</p>	

カプラの選択は車種の年式により決定してください。

日産カプラ	1989年(平成1年)から1997年(平成9年)頃のダイアグノーシス・カプラ(メーカー専用カプラ)搭載車。
共通カプラ	1998年(平成10年)頃からのデータリンク・カプラ(共通カプラ)搭載車。

5.自己診断の操作方法

コメント:自己診断とは、コントロール・ユニットに信号系統の断線または短絡などの異常が起きたとき、その系統を検知し、コントロール・ユニットに記憶させます。

<自己診断項目>

自己診断	コントロール・ユニット制御に必要なセンサーのうち重要なセンサー系統について異常が発生し、かつ自己診断条件を満足した場合にコントロール・ユニットに記憶させます。
リアル診断	自己診断の故障検知条件とは別の条件で設定されており、自己診断よりも故障検出能力を高めてあるモードです。(自己診断結果には記憶されません。) 注:リアル機能がないメーカーもあります。
記録	自己診断およびリアル診断のデータを本体に登録ができません。
プリンター	プリンターで印刷が可能です。
消去	コントロール・ユニットに記憶されている故障コードが消去できます。
フリーズ・フレーム・データ	データリンク・カプラー(共通カプラ)が搭載されている車両で、故障コードを認識した時(自己診断セット時)の車両データ(トラブルコードやエンジン回転数、スロットル開度、水温など)を読み取り表示します。 再現しにくい不具合の原因推定を行うことができます。

<エンジン診断記録項目>

登録	<自己診断項目>で記録したデータを最大3個まで登録が可能です。 (記録したデータを「PC-SCANNER」を使用し、パソコンで管理が可能です。)
削除	登録したデータを消去します。
表示	登録したデータを表示します。

自己診断(例:日産)

<p>1.</p>	<p>「エンジン診断メニュー」画面で ▲▼ キーで 自己診断 を選択して、ENTER キーで実行します。</p>	
<p>2.</p>	<p>「自己診断」画面が表示され、対応システムの故障コードの「読み取り」を開始します。</p>	
<p>3.</p>	<p>リアル、記録、消去 は、◀▶ キーで選択し、ENTER キーで実行します。ESC キーで前画面に戻ります。</p>	
<p>4.</p>	<p>リアル を選択し ENTER キーを押すと「エンジン リアル診断」画面に切り替わります。</p>	
<p>5.</p>	<p>「エンジン 自己診断」画面に戻る場合は 自己 を選択し ENTER キーを押すと自己診断画面に切り替わります。ページが複数にわたる場合は、▲▼ キーで表示できます。</p>	

6.

読み取りが終了すると自己診断の結果が表示されます。

ページが複数にわたる場合は、▲▼ キーで表示できます。

エンジン 自己診断

Page 1/ 1

*** 異常あり *** 時期

13 水温センサ 0

21 点火一次信号 0

リアル 記録 消去

ニッサンカプラー対応車両の場合

エンジン 自己診断

Page 1/ 2 DTCs 数 = 2

*** 異常あり ***

P0100

エアフローメータ系統 異常


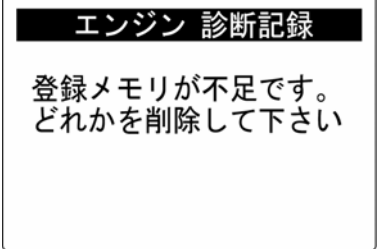
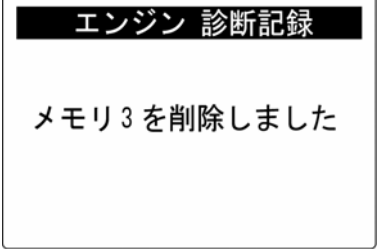
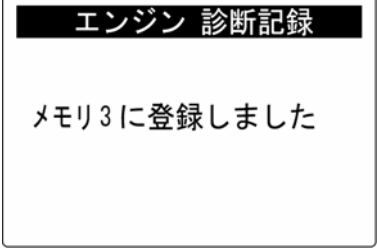
記録 消去 **リセット**

共通カプラー対応車両の場合

フリーズ・フレーム・データ（共通カプラ対応車両のみ）

自己診断	
<p>1.</p> <p>「エンジン 自己診断」画面の フリーズ を ◀ ▶ キーで選択し、 ENTER キーで実行すると、不具合時の記録データが表示されます。</p> <p>ESC キーで前画面に戻ります。</p> <p>ページが複数にわたる場合は、▲ ▼ キーで表示できます。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">エンジン 自己診断</p> <p>Page 1/ 2 DTCs 数 = 2 *** 異常あり *** P0100 エアフローメータ系統 異常</p> <p style="text-align: center;"> 記録 消去 フリーズ </p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">エンジン 自己診断 (フリーズ)</p> <p>Page 1/3 診断コード P0100 燃料システム B1 Model 4 燃料システム B2 Model 4 計算負荷値 25 %</p> <p style="text-align: center;">記録</p> </div>
<p>2.</p> <p>車両の修理が済みましたら、消去 を選択して ENTER キーで実行し、故障コードの記憶を消去します。</p> <p>※故障コードを消去すると同時にフリーズフレームデータも消去されます。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">自己診断</p> <p style="text-align: center;">消去中 ...</p> <p style="text-align: center;"> リアル 記録 消去 </p> </div>

エンジン診断記録

1.	<p>記録 選択すると、右記の画面が表示されます。登録、削除、表示は◀▶キーで選択し、ENTER キーで実行します。ESC キーで前画面に戻ります。</p>	
2.	登録メモリに空きが無い場合のメッセージ	
3.	削除終了のメッセージ	
4.	登録終了のメッセージ	

6.データ表示の操作方法

コメント:データ表示とは、自己診断では発見できないセンサの特性異常や制御データの確認など、故障探求を進める場合に活用します。

コントロール・ユニットの入力信号データをリアルタイムに表示します。

<エンジンデータ表示項目>

表示	全項目表示と項目選択表示の2種類が選択可能です。
比較	アイドルと2000rpm時のデータを記録された参考値と比較ができます。
記録	エンジンデータ表示、エンジンデータ表示記録、エンジンデータ比較を本体に記録します。
プリンタ	プリンタで印刷ができます。(記録とプリンタ表示は、ユーティリティーの選択により変わります。)






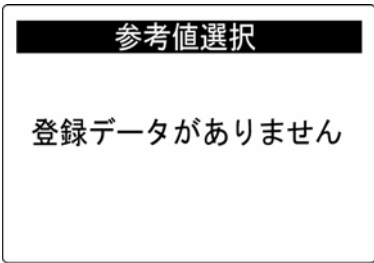

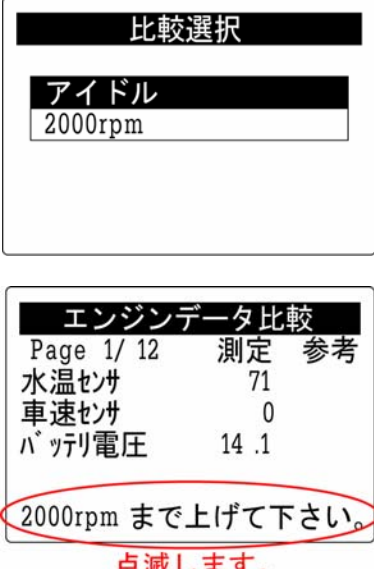
<エンジンデータ表示記録項目>

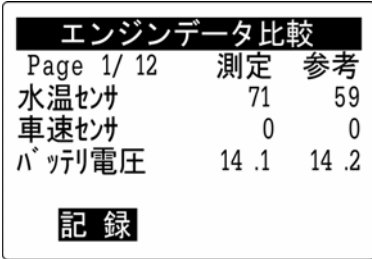


登録	エンジンデータ表示項目、エンジンデータ表示記録項目、エンジンデータ比較項目の記録を最大3個まで保存可能です。
削除	登録したデータを消去します。
表示	登録したデータを表示します。

データ表示（例：日産）

1.	<p>▲▼キーで、データ表示 を選択して、ENTER キーで実行します。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">エンジン診断メニュー</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>自己診断</td></tr> <tr><td>データ表示</td></tr> <tr><td>データ記録</td></tr> <tr><td>アクティブテスト</td></tr> </table> </div>	自己診断	データ表示	データ記録	アクティブテスト						
自己診断												
データ表示												
データ記録												
アクティブテスト												
2.	<p>「エンジン データ表示」画面に切り替わり、車両が対応している項目のデータ表示が開始されます。</p> <p>表示、比較、記録は、◀▶キーで選択し、ENTER キーで実行します。ESCキーで前画面に戻ります。</p> <p>表示 を選択すると、「表示選択」画面が表示されます。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">エンジン データ表示</p> <p>Page 1/13</p> <table style="width: 100%;"> <tr><td>水温センサ</td><td style="text-align: right;">81°C</td></tr> <tr><td>車速センサ</td><td style="text-align: right;">0km/h</td></tr> <tr><td>バッテリー電圧</td><td style="text-align: right;">14.1V</td></tr> </table> <p style="text-align: center;">表示 比較 記録</p> </div>	水温センサ	81°C	車速センサ	0km/h	バッテリー電圧	14.1V				
水温センサ	81°C											
車速センサ	0km/h											
バッテリー電圧	14.1V											
3.	<p>▲▼キーで 全項目 を選択して、ENTER キーを押すと全項目表示モードになります。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">表示選択</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>全項目</td></tr> <tr><td>項目選択</td></tr> </table> </div>	全項目	項目選択								
全項目												
項目選択												
4.	<p>項目選択 を選択すると、「表示項目選択」画面が表示されます。</p> <p>▲▼キーで、表示したい項目を選択し、ENTER キーを押すと反転表示されます。</p> <p>また、選択を解除したい時は、もう一度、ESC キーを押すと表示が戻ります。表示する項目の選択が決定したら、ENTER キーで実行します。選択された項目のみが表示されます。(最大6項目の選択が可能)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">表示項目選択</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>クラセン(POS)</td></tr> <tr><td>エアフローメータ(L)</td></tr> <tr><td>水温センサ</td></tr> <tr><td>O2センサ(L)</td></tr> </table> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p style="text-align: center;">エンジン データ表示</p> <table style="width: 100%;"> <tr><td>クラセン(POS)</td><td style="text-align: right;">0rpm</td></tr> <tr><td>エアフローメータ(L)</td><td style="text-align: right;">0.08V</td></tr> <tr><td>水温センサ</td><td style="text-align: right;">81°C</td></tr> </table> <p style="text-align: center;">表示 比較 記録</p> </div>	クラセン(POS)	エアフローメータ(L)	水温センサ	O2センサ(L)	クラセン(POS)	0rpm	エアフローメータ(L)	0.08V	水温センサ	81°C
クラセン(POS)												
エアフローメータ(L)												
水温センサ												
O2センサ(L)												
クラセン(POS)	0rpm											
エアフローメータ(L)	0.08V											
水温センサ	81°C											

比較・登録について

<p>1.</p>	<p>「エンジン データ表示」画面から、 キーで 比較 を選択し、ENTER キーで実行すると、「参考値選択」の画面が表示されます。</p>	
<p>2.</p>	<p> キーで比較したい参考値名を選択後、 キーで 選択 を選択し、ENTER キーで実行します。 ※「表示」を選択すると、「車種情報表示」画面が表示されます。</p>	
<p>3.</p>	<p>「参考値選択」画面で参考値の登録データがない場合は、「登録データがありません」というメッセージが表示されます。</p>	
<p>4.</p>	<p> キーでどちらの状態(アイドル、2000rpm)のデータと比較するか選択し、ENTER キーで実行します。 ※2000rpm を選択した場合、画面に「2000rpm まで上げて下さい」と表示されます。表示に従い2000rpm までエンジン回転数を上げて下さい。 ※2000rpm までエンジン回転数を上げないとこの画面のままボタン操作が無効になります。その際は電源を入れなおして下さい。</p>	

5.	<p>実行すると「エンジンデータ比較」画面が表示されます。 記録したい場合は、ENTER キーで実行します。</p>	 <p>エンジンデータ比較 Page 1/ 12 測定 参考 水温センサ 71 59 車速センサ 0 0 バッテリー電圧 14.1 14.2 記録</p>
6.	<p>記録したいメモリを▲▼キーで選択後、◀▶キーで登録を選択し、ENTER キーで決定します。</p>	 <p>エンジン データ表示記録 メモリ1 メモリ2 メモリ3 登録 削除 表示</p>
7.	<p>登録完了画面が表示されます。</p>	 <p>エンジン データ表示記録 メモリ1に登録しました</p>
8.	<p>表示後、「エンジン データ表示記録」画面に戻ります。 指定されたメモリに登録されているか確認してください。</p>	 <p>エンジン データ表示記録 メモリ1 データ比較 メモリ2 メモリ3 登録 削除 表示</p>

7.データ記録の操作方法

コメント:データ記録とは、自己診断、データ表示では発見できない故障(走行中の不具合、いつ症状がでるか分からない)をデータロガー機能を用いて判断が可能となります。さらに参考値記録でデータを保存し、故障車との比較に役立つ機能もあります。

<参考値登録項目>

登録	車種情報とアイドル及び2000rpmの参考値データを記憶します。最大128種類まで登録が可能です。(登録したデータを「PC SCANNER」を使用し、パソコンにて管理できます。)
消去	登録したデータを消去します。
表示	登録したデータを表示します。

参考値記録方法

1.	<p>▲▼キーで、データ記録 を選択して、ENTER キーで実行します。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">エンジン診断メニュー</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="padding: 2px;">自己診断</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">データ表示</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">データ記録</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">アクティブテスト</td></tr> </table> </div>	自己診断	データ表示	データ記録	アクティブテスト						
自己診断												
データ表示												
データ記録												
アクティブテスト												
2.	<p>「エンジンデータ記録」画面が表示されます。</p> <p>▲▼キーで、参考値記録 を選択して、ENTER キーで、実行します。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">エンジンデータ記録</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="padding: 2px;">参考値記録</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">マニュアル記録</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">記録データ表示</td></tr> </table> </div>	参考値記録	マニュアル記録	記録データ表示							
参考値記録												
マニュアル記録												
記録データ表示												
3.	<p>「エンジン参考データ記録」の画面が表示されます。表示されたメッセージに従って ENTER キーで実行します。</p> <p>初めに、アイドル状態のデータ記録を開始します。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">エンジン参考データ記録</p> <p style="text-align: center;">アクセルを全閉にして、 ENTERキーを押して下さい</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="padding: 2px;">アイドル判定</td><td style="padding: 2px;">ON</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">エンジン回転数</td><td style="padding: 2px;">800rpm</td></tr> </table> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">エンジン参考データ記録</p> <p style="text-align: center;">アクセルを全閉にして、 ENTERキーを押して下さい</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="padding: 2px;">アイドル判定</td><td style="padding: 2px;">ON</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">エンジン回転数</td><td style="padding: 2px;">800rpm</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">アイドル記録中</td><td style="padding: 2px;">100%</td></tr> </table> </div>	アイドル判定	ON	エンジン回転数	800rpm	アイドル判定	ON	エンジン回転数	800rpm	アイドル記録中	100%
アイドル判定	ON											
エンジン回転数	800rpm											
アイドル判定	ON											
エンジン回転数	800rpm											
アイドル記録中	100%											

<p>4.</p>	<p>アイドル状態のデータ記録が終了すると2000rpm 時の「エンジン参考データ記録」画面が表示されます。</p> <p>表示されたメッセージに従ってENTER キーで実行します。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>エンジン参考データ記録</p> <p>エンジン回転数を 2000±50rpm に保ち、 ENTERキーを押して下さい</p> <p>アイドル判定 ON エンジン回転数 800rpm</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>エンジン参考データ記録</p> <p>エンジン回転数を 2000±50rpm に保ち、 ENTERキーを押して下さい</p> <p>アイドル判定 ON エンジン回転数 800rpm 2000rpm 記録中 100%</p> </div>					
<p>5.</p>	<p>2000rpm 状態のデータ記録が終了すると「参考値登録」画面が表示されます。</p> <p>登録、削除、表示 は ◀▶ キーで選択し、ENTER キーで実行します。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">参考値登録</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">01</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">02</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">03</td></tr> </table> <p style="text-align: center;">登録 削除 表示</p> </div>	01	02	03		
01							
02							
03							
<p>6.</p>	<p>登録 を選択すると「車種情報設定」画面が表示されます。車両情報入力は、◀▶ キーで設定 を選択し、ENTER キーで、実行します。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">車種情報設定</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%; margin-bottom: 5px;"></div> <p style="text-align: center;">決定 設定</p> </div>					
<p>7.</p>	<p>設定 を選択すると、「車種の選択」画面が表示されます。</p> <p>▲▼ キーで車種名を選択(反転表示)して、ENTER キーで実行します。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">車種の選択</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">プレジデント</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">JHG50 型系</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">VH45DE</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">'90. 10 ~ '94. 5</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">決 定</td></tr> </table> </div>	プレジデント	JHG50 型系	VH45DE	'90. 10 ~ '94. 5	決 定
プレジデント							
JHG50 型系							
VH45DE							
'90. 10 ~ '94. 5							
決 定							

8.	<p>車種一覧が表示されます。</p> <p>▲▼キーで、車種名を選択(反転表示)して、ENTER キーで実行します。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">車種の選択</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プレジデント</td> <td></td> </tr> <tr> <td>インフィニティQ45</td> <td></td> </tr> <tr> <td>シーマ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>セドリック・グロリア H/T</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	車種の選択		プレジデント		インフィニティQ45		シーマ		セドリック・グロリア H/T			
車種の選択														
プレジデント														
インフィニティQ45														
シーマ														
セドリック・グロリア H/T														
9.	<p>▲▼キーで、車両型式を選択(反転表示)して、ENTER キーで実行します。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">車種の選択</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セドリック・グロリア H/T</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Y31 型系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>VG20E</td> <td></td> </tr> <tr> <td>'89. 6 ~ '91. 6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>決定</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	車種の選択		セドリック・グロリア H/T		Y31 型系		VG20E		'89. 6 ~ '91. 6		決定	
車種の選択														
セドリック・グロリア H/T														
Y31 型系														
VG20E														
'89. 6 ~ '91. 6														
決定														
10.	<p>車両形式一覧が表示されます。</p> <p>▲▼キーで車両型式を選択(反転表示)して、ENTER キーで実行します。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">車種の選択</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Y31 型系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Y32 型系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Y33 型系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Y34 型系</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	車種の選択		Y31 型系		Y32 型系		Y33 型系		Y34 型系			
車種の選択														
Y31 型系														
Y32 型系														
Y33 型系														
Y34 型系														
11.	<p>▲▼キーでエンジン型式を選択(反転表示)して、ENTER キーで実行します。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">車種の選択</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セドリック・グロリア H/T</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Y32 型系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>VG20E</td> <td></td> </tr> <tr> <td>'91. 6 ~ '95. 6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>決定</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	車種の選択		セドリック・グロリア H/T		Y32 型系		VG20E		'91. 6 ~ '95. 6		決定	
車種の選択														
セドリック・グロリア H/T														
Y32 型系														
VG20E														
'91. 6 ~ '95. 6														
決定														
12.	<p>エンジン型式一覧が表示されます。</p> <p>▲▼キーでエンジン型式を選択(反転表示)して、ENTER キーで実行します。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">車種の選択</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>VG20E</td> <td></td> </tr> <tr> <td>VG30E</td> <td></td> </tr> <tr> <td>VG30DE</td> <td></td> </tr> <tr> <td>VG30DET</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	車種の選択		VG20E		VG30E		VG30DE		VG30DET			
車種の選択														
VG20E														
VG30E														
VG30DE														
VG30DET														

<p>13.</p>	<p>▲▼キーで対応年式を選択(反転表示)して、ENTER キーで実行します。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">車種の選択</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">セドリック・グロリア H/T</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">Y32 型系</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">VG30DET</td></tr> <tr style="background-color: black; color: white;"><td style="text-align: center;">'91. 6 ~ '93. 6</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">決 定</td></tr> </table> </div>	セドリック・グロリア H/T	Y32 型系	VG30DET	'91. 6 ~ '93. 6	決 定
セドリック・グロリア H/T							
Y32 型系							
VG30DET							
'91. 6 ~ '93. 6							
決 定							
<p>14.</p>	<p>年式一覧が表示されます。</p> <p>▲▼キーで対応年式を選択(反転表示)して、ENTER キーで実行します。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">車種の選択</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr style="background-color: black; color: white;"><td style="text-align: center;">'91. 6 ~ '93. 6</td></tr> <tr style="background-color: black; color: white;"><td style="text-align: center;">'93. 6 ~ '95. 6</td></tr> </table> </div>	'91. 6 ~ '93. 6	'93. 6 ~ '95. 6			
'91. 6 ~ '93. 6							
'93. 6 ~ '95. 6							
<p>15.</p>	<p>車種情報の選択が決まりましたら、▲▼キーで決定を選択して ENTER キーで実行します。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">車種の選択</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">セドリック・グロリア H/T</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">Y32 型系</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">VG30DET</td></tr> <tr style="background-color: black; color: white;"><td style="text-align: center;">'93. 6 ~ '95. 6</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">決 定</td></tr> </table> </div>	セドリック・グロリア H/T	Y32 型系	VG30DET	'93. 6 ~ '95. 6	決 定
セドリック・グロリア H/T							
Y32 型系							
VG30DET							
'93. 6 ~ '95. 6							
決 定							
<p>16.</p>	<p>設定した車種情報に誤りがない場合は、◀▶キーで 決定 を選択して、ENTER キーで実行します。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">車種情報設定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">セドリック・グロリア H/T</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">Y32 型系</td></tr> </table> <p style="text-align: center;">決 定 設 定</p> </div>	セドリック・グロリア H/T	Y32 型系			
セドリック・グロリア H/T							
Y32 型系							
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>参考値記録</p> <p>参考値を登録中です。 電源をOFFにしないで しばらくお待ち下さい。</p> </div> <p style="text-align: center; font-size: small;">登録開始のメッセージ</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>参考値登録</p> <p>書き込み中にエラーが 発生しました。 電源をOFFにして下 さい。</p> </div> <p style="text-align: center; font-size: small; background-color: red; color: white;">登録時のエラーメッセージ</p>					

17.	「メモリ001に登録しました。」のメッセージが表示され、登録が完了します。	<div data-bbox="883 189 1254 440"><p style="text-align: center;">参考値登録</p><p style="text-align: center;">メモリ 001に登録しました</p></div>			
18.	登録が終了すると、「参考値登録」画面に登録した車種名が表示されます。 ESC キーでエンジン・データ記録メニュー画面に戻ります。	<div data-bbox="883 490 1254 749"><p style="text-align: center;">参考値登録</p><table border="1" style="width: 100%;"><tr><td style="background-color: black; color: white;">01 セドリック・グロリア H/T</td></tr><tr><td>02</td></tr><tr><td>03</td></tr></table><p style="text-align: center;">登録 削除 表示</p></div>	01 セドリック・グロリア H/T	02	03
01 セドリック・グロリア H/T					
02					
03					

マニュアル記録方法

<p>1.</p>	<p>▲▼キーで マニュアル記録 を選択して、ENTER キーで実行します。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">エンジンデータ記録</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <p>参考値記録</p> <p>マニュアル記録</p> <p>記録データ表示</p> </div> </div>																
<p>2.</p>	<p>「エンジン マニュアル記録」の画面が表示されます。表示されたメッセージに従って ENTER キーで実行します。(ENTER キーが押される前のデータを600通信分記憶します。但し、600通信前に ENTER キーが押された場合はそこまでのデータを記憶します。)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">エンジン マニュアル記録</p> <p>Page 1/ 7</p> <p>クレン(POS) 0rpm</p> <p>I770-メータ(L) 0.08V</p> <p>水温センサ 81°C</p> <p>ENTER キーで後部記録開始</p> <p style="text-align: right;">前部記録中 10%</p> </div>																
<p>3.</p>	<p>ENTER キーが押された時点から600通信分のデータの記憶を開始します。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">エンジン マニュアル記録</p> <p>Page 1/ 7</p> <p>クレン(POS) 0rpm</p> <p>I770-メータ(L) 0.08V</p> <p>水温センサ 81°C</p> <p style="text-align: right;">後部記録中 10%</p> </div>																
<p>4.</p>	<p>記録が終了したら、「エンジン データ表示」画面が表示されます。</p> <p>▲▼キーで表示データがスクロールします。◀▶キーで表示項目が変わります。</p> <p>ESCキーで「エンジンデータ記録」メニュー画面に戻ります。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">エンジン データ表示</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>クレン POS (rpm)</th> <th>I770- メータ L (V)</th> <th>水温 センサ (°C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-2</td> <td>2050</td> <td>1.47</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>-1</td> <td>2050</td> <td>1.47</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>2000</td> <td>1.50</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table> </div>		クレン POS (rpm)	I770- メータ L (V)	水温 センサ (°C)	-2	2050	1.47	80	-1	2050	1.47	80	0	2000	1.50	80
	クレン POS (rpm)	I770- メータ L (V)	水温 センサ (°C)															
-2	2050	1.47	80															
-1	2050	1.47	80															
0	2000	1.50	80															

記録データ表示方法

1.	<p>▲▼キーで 記録データ表示 を選択して、 ENTER キーで実行します。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">エンジンデータ記録</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">参考値記録</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">マニュアル記録</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">記録データ表示</td></tr> </table> </div>	参考値記録	マニュアル記録	記録データ表示													
参考値記録																		
マニュアル記録																		
記録データ表示																		
2.	<p>▲▼キーで表示したい記録データを選択して、ENTER キーで実行します。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">データ表示選択</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">アイドル記録データ</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">2000rpm 記録データ</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">マニュアル記録データ</td></tr> </table> </div>	アイドル記録データ	2000rpm 記録データ	マニュアル記録データ													
アイドル記録データ																		
2000rpm 記録データ																		
マニュアル記録データ																		
3.	<p>「エンジン データ表示」画面が表示されます。</p> <p>▲▼キーで、表示データがスクロールします。◀▶キーで表示項目が変わります。</p> <p>ESC キーで、エンジンデータ記録 メニュー画面に戻ります。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">エンジン データ表示</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>クレン POS (rpm)</th> <th>エアロ- メータ L (V)</th> <th>水温 センサ (°C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>-2</td><td>2050</td><td>1.47</td><td>80</td></tr> <tr><td>-1</td><td>2050</td><td>1.47</td><td>80</td></tr> <tr><td>0</td><td>2000</td><td>1.50</td><td>80</td></tr> </tbody> </table> </div>		クレン POS (rpm)	エアロ- メータ L (V)	水温 センサ (°C)	-2	2050	1.47	80	-1	2050	1.47	80	0	2000	1.50	80
	クレン POS (rpm)	エアロ- メータ L (V)	水温 センサ (°C)															
-2	2050	1.47	80															
-1	2050	1.47	80															
0	2000	1.50	80															

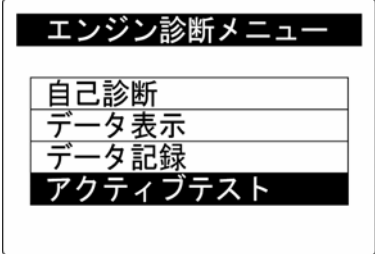

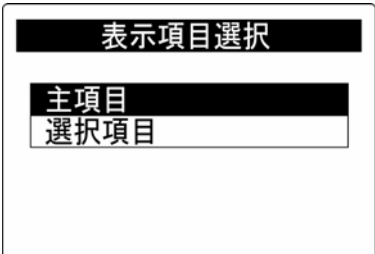
8.アクティブ・テストの操作方法

コメント:アクティブ・テストとは、本来、一定の条件が成立しなければ作動しないアクチュエータ(各種VSV、ソレノイドなど)を作動条件でないにもかかわらず作動させることができます。従って、実走行を行わず車両を停止させた状態で確認ができ、故障診断の効率・安全性が向上します。

〈注意事項〉

テスト項目	メーカーによりテスト項目内容は異なります。
アクティブ・テスト	メーカーによりアクティブ・テスト機能が搭載されていないメーカーもあります。
※詳細は各メーカーソフトの取扱説明書を参照してください。	

アクティブ・テスト (例:日産)

1.	<p>▲▼キーで、アクティブテスト を選択して、 ENTER キーで実行します。</p>	 <p>エンジン診断メニュー</p> <p>自己診断 データ表示 データ記録 アクティブテスト</p>
2.	<p>「テスト項目選択」画面が表示されます。</p> <p>▲▼キーでテストしたい項目を選択して、ENTER キーで実行します。</p>	 <p>テスト項目選択</p> <p>燃料噴射量 AACバルブ開度 水温 点火時期</p>
3.	<p>▲▼キーで 主項目 または 選択項目 を選択して、ENTER キーで実行します。</p> <p>選択項目を選択すると、最大6項目まで選択が可能です。</p>	 <p>表示項目選択</p> <p>主項目 選択項目</p>

4. **選択項目** を選択すると、「表示項目選択」画面が表示されます。

▲▼ キーで表示したいセンサー項目にあわせ、**ENTER** キーを押すと黒表示します。また、選択を解除したい時は、もう一度、センサー項目にあわせ**ENTER** キーを押すと白表示になります。表示させたい項目の選択が決まりましたら、**ENTER** キーで実行します。選択された項目のみが表示されます。(最大6項目の選択が可能)

表示項目選択

クラセン (POS)
 エアフローメータ (L)
水温センサ
 O2センサ (L)

＜操作方法例①＞燃料噴射量テスト

1. 空燃費フィードバック制御を停止して、補正值 (**+10**、**+1**、**-1**、**+10**) により燃料噴射量を補正します。

◀▶ キーで補正值の選択をします。

燃料噴射量テスト

Page 1/6
 燃料噴射量 100%
 =====
 水温センサ 86°C

+10 **+1** **-1** **-10** **記録**

注) 主要項目及び選択項目のセンサー名の表示は、一行しか表示しないため ▲▼ キーでスクロールしてください。

燃料補正可能範囲	-25%~+25%
主要表示項目	クラセン (POS)
	クラセン (REF)
	水温センサ
	O2センサ (L)
	O2センサ (R)
	噴射パルス (L)
	噴射パルス (R)
	AAC バルブ

＜操作方法例②＞パワーバランステスト

<p>1.</p>	<p>「テスト項目選択」画面からパワーバランスを選択します。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">テスト項目選択</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">パワーバランス</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">燃料ポンプリレー</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ラジエーターファン</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">急速TAS学習</td> </tr> </table> </div>	パワーバランス	燃料ポンプリレー	ラジエーターファン	急速TAS学習								
パワーバランス														
燃料ポンプリレー														
ラジエーターファン														
急速TAS学習														
<p>2.</p>	<p>「表示項目選択」画面で項目を選択後、「パワーバランステスト」の画面が表示されます。表示 が選択されていることを確認し、ENTER キーで実行します。 中止する場合は、ESC キーで戻ります。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">パワーバランステスト</p> <p style="text-align: center;">Page 1/2</p> <p style="text-align: right;">エンジン回転数 rpm</p> <p style="text-align: center;">表示</p> </div>												
<p>3.</p>	<p>各データが表示されますので、開始 が選択されていることを確認し、ENTERキーで実行します。 ▲▼キーで表示データがスクロールします。 中止する場合は、ESCキーで戻ります。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">パワーバランステスト</p> <p style="text-align: center;">Page 1/2</p> <p style="text-align: right;">エンジン回転数 700rpm</p> <p style="text-align: center;">開始</p> </div>												
<p>4.</p>	<p>実行すると、自動的に1気筒から順にパワーバランスを行います。 現在テストを行っている気筒、テストを行ったときの最大・最小のエンジン回転数、テストを行う前のエンジン回転数が表示されます。 ▲▼キーで表示データがスクロールします。 中止する場合は、解除 が選択されていることを確認し、ENTERキーで実行またはESCキーで戻ります。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">パワーバランステスト</p> <p style="text-align: center;">Page 1/2</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: left;">気筒</td> <td style="text-align: center;">最大</td> <td style="text-align: center;">最小</td> <td style="text-align: center;">カット前</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">1</td> <td style="text-align: center;">725</td> <td style="text-align: center;">587</td> <td style="text-align: center;">700rpm</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">エンジン回転数</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">725rpm</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">解除</p> </div>	気筒	最大	最小	カット前	1	725	587	700rpm	エンジン回転数	725rpm		
気筒	最大	最小	カット前											
1	725	587	700rpm											
エンジン回転数	725rpm													
<p>5.</p>	<p>全気筒のテストが終了すると、全気筒のテスト結果が表示されます。 ▲▼キーで表示データがスクロールします。 戻る場合は、解除 が選択されていることを確認し、ENTERキーで実行またはESCキーで戻ります。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">パワーバランステスト</p> <p style="text-align: center;">Page 1/2</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: left;">気筒</td> <td style="text-align: center;">最大</td> <td style="text-align: center;">最小</td> <td style="text-align: center;">カット前</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">1</td> <td style="text-align: center;">725</td> <td style="text-align: center;">587</td> <td style="text-align: center;">700rpm</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">2</td> <td style="text-align: center;">720</td> <td style="text-align: center;">587</td> <td style="text-align: center;">725rpm</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">解除 記録</p> </div>	気筒	最大	最小	カット前	1	725	587	700rpm	2	720	587	725rpm
気筒	最大	最小	カット前											
1	725	587	700rpm											
2	720	587	725rpm											

S500 ソフトインストール用アプリケーション

WRITE-III

取扱説明書

目次

1. ソフトの入手方法.....	37
2.「WRITE-Ⅲ」のインストール.....	37
3.「WRITE-Ⅲ」使用方法.....	39
3-1 S500とパソコンの接続.....	39
3-2 S500本体の準備.....	42
3-3 バージョンアップ、新規ソフトウェアの解凍.....	43
3-5 WRITE-Ⅲの操作.....	44
WRITE-Ⅲの操作 起動.....	44
WRITE-Ⅲの操作 使用者情報の書込み.....	46
WRITE-Ⅲの操作 ソフトファイルのインストール.....	47
WRITE-Ⅲの操作 OSファイルのインストール.....	51
4.「WRITE-Ⅲ」のアンインストール(削除).....	55
付録.....	56
展開ウィザード(ZIPファイルの解凍Windows XPの場合).....	56
1.S500 プリンターの説明.....	59
各部名称.....	59
印刷方法.....	60
充電方法.....	60
2.PC SCANNERの説明.....	61
3.セット内容.....	61
注意事項.....	61
4.インストール/アンインストール方法.....	62
プログラムの削除方法.....	63
5.S500との接続方法.....	64
6.PC SCANNERを起動する前に.....	67
7.PC SCANNERの操作.....	68
起動方法.....	68
終了方法.....	69
S500よりモニタデータの読み込み.....	70
お客様の登録.....	70
既存のお客様データの編集、追加.....	72
印刷.....	77
データ削除.....	77
お客様削除.....	78
お客様追加・変更.....	78
S500より参考値データの読み込み・削除.....	79
参考値データの読み込み.....	79
参考値データの保存.....	81
参考値データの削除.....	82
パソコンよりS500へ参考値書き込み.....	83
保証.....	85
免責事項.....	85

1. ソフトの入手方法

S500 ソフトインストール用アプリケーション「WRITE-III」(以下 WRITE-III)はインターネットを使用し、ダウンロードしてお使いいただけます。

2. 「WRITE-III」のインストール

ファイルの準備

ダウンロード(CD-ROM 版は CD-ROM 内)したファイルを解凍します。

※Windows XP で解凍ソフトがインストールされていない場合は付録の展開ウィザードを参照してください。(P.12)

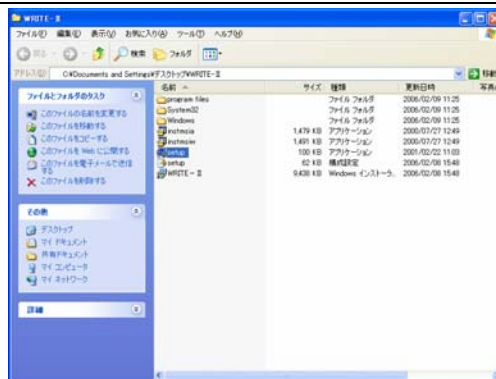
※Windows XP 以前または、解凍ソフトがインストールされている場合はアイコンが異なります。



WRITE-III.zip

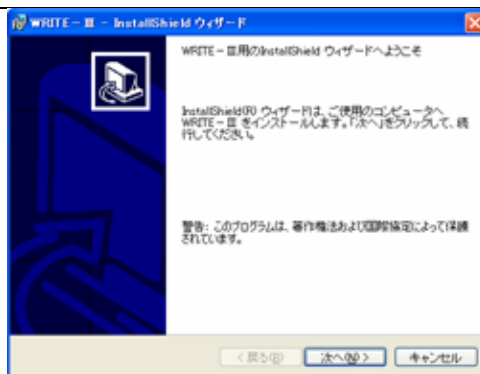
解凍後のフォルダ内

解凍したフォルダの内容を見ると右のようになっています。「setup.exe」をダブルクリック(又は右クリック-開く)してセットアップを開始します。



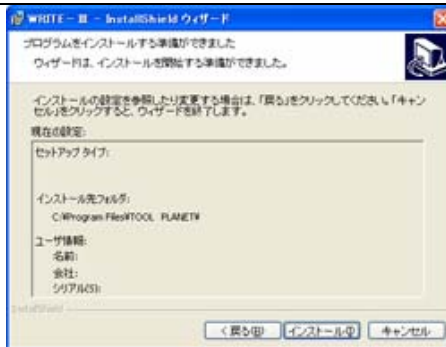
インストール 1

お使いのパソコンに「WRITE-III」をインストールします。
[次へ(N)]をクリックします。



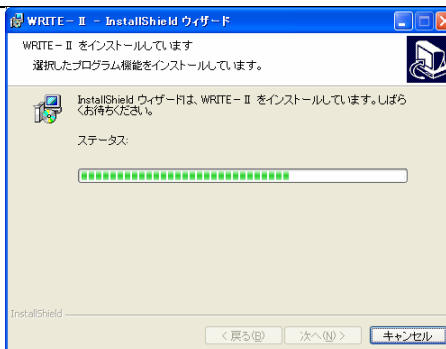
インストール 2

インストール先フォルダを確認して[インストール(I)]をクリックします。



インストール 3

パソコンにファイルをコピーしています。



インストール 4

インストールが完了しました。[完了(F)]をクリックして完了します。



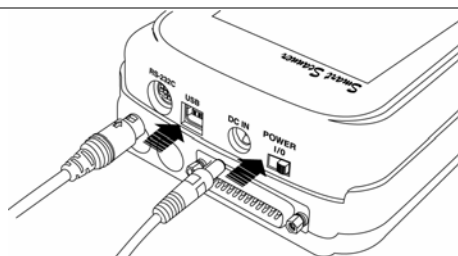
3.「WRITE-III」使用方法

3-1 S500とパソコンの接続

RS232C 接続の場合

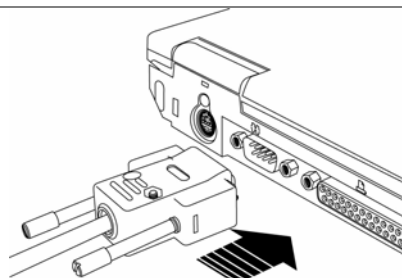
S500にケーブルを接続する

S500本体に接続ケーブル(S500-232C-C)とAC電源アダプター(S500-AC-C)を接続します。AC電源アダプター(S500-AC-C)の片側をACコンセントに接続します。
※本体USBコネクタは現在使用できません。「RS-232C」と書かれた○型コネクタを使用します。



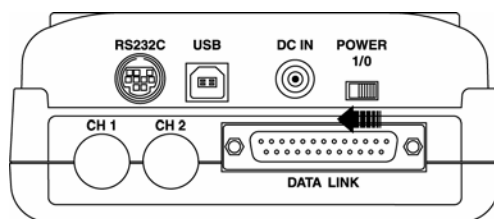
パソコンにケーブルを接続する

接続ケーブル(S500-232C-C)をパソコンに接続します。
※パソコンにシリアルポート(RS-232C 9ピンポート)が装備されていないパソコンの場合は、市販のUSB変換ケーブルもお使いいただけます。その場合、USB変換ケーブルのドライバーをインストールして、ポートの確認をしてください。



電源スイッチを入れる

S500の電源スイッチで電源を入れます。

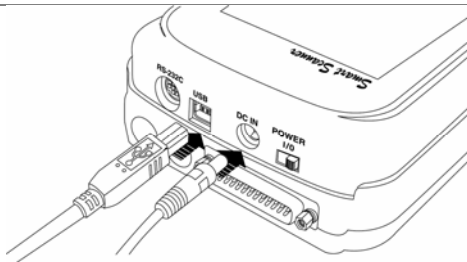


USB 接続の場合

USB 接続の場合、WINDOWS 用ドライバーのインストールが必要になります。

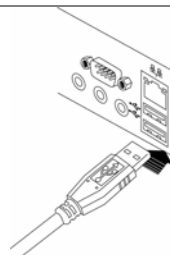
S500にケーブルを接続する

S500本体に接続ケーブル(USB-CABLE)とAC電源アダプター(S500-AC-C)を接続します。AC電源アダプター(S500-AC-C)の片側をACコンセントに接続します。



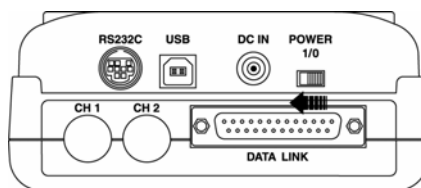
パソコンにケーブルを接続する

接続ケーブル(USB-CABLE)をパソコンに接続します。



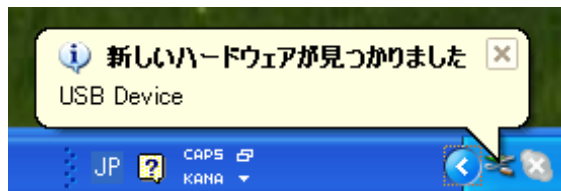
電源スイッチを入れる

S500の電源スイッチで電源を入れます。



パソコンの OS が S500を発見します。

S500を電源を入れた状態で接続すると、パソコンの OS が S500を発見してドライバーのインストールウィザードがはじまります。



USBドライバーのインストール開始

「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」が始まり、USBドライバーをインストールします。「一覧または特定の場所からインストール(詳細)(S)」をクリックして「次へ」をクリックします。



ドライバーの選択

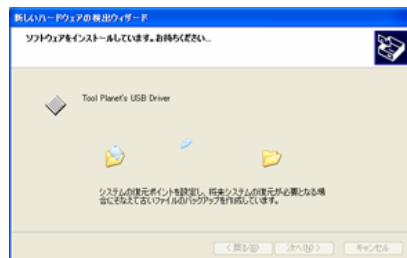
「フォルダの参照」ウィンドウが表示されます。
ドライバーのある場所を選択して「OK」をクリックします。



Windows がドライバーを探します。



ファイルのインストールが開始されます。



インストール完了

インストールが完了しました。



3-2 S500本体の準備

スタート画面

電源を入れると初期画面が表示されます。
[ENTER]キーで実行します。



メインメニュー

メインメニューが表示されたら▲▼キーでダウンロードを選択して[ENTER]キーで実行します。



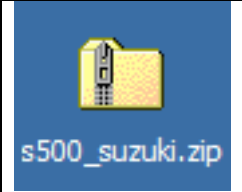
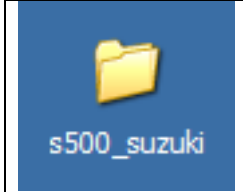
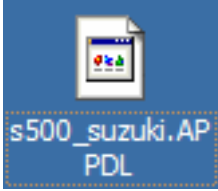
オンライン画面

「待機中」というメッセージが表示され、S500がパソコンと通信可能な状態になります。
パソコンで、WRITE-III を起動してください。



3-3 バージョンアップ、新規ソフトウェアの解凍

S500に関する OS、診断ソフトウェアのファイルは、弊社ホームページよりダウンロードできます。(会員専用)
サポート会員に入会されない場合は CD-ROM にてお送りいたします。

ファイルの解凍		
<p>メールでリクエストすると、ソフトウェアがメールで送られてきます。こちらからお送りするファイルは全て圧縮 (ZIP) ファイルになっています。</p> <p>※Windows XP 以外の Windows では標準で ZIP ファイルの解凍が行えません。解凍が行えない場合は別途解凍ソフトが必要です。</p>	 <p>s500_suzuki.zip</p> <p>解凍前</p>	 <p>s500_suzuki</p> <p>解凍後</p>
<p>※上記アイコンは Windows XP の標準アイコンです。解凍ソフトなどによりアイコンが違う場合があります。</p>		
APPDL ファイル		
<p>解凍が完了するとフォルダの中に右のような S500用ソフトウェアファイル (APPDL ファイル) が表示されます。</p> <p>※圧縮されたまま (ZIP ファイル) では S500へのインストールはできません。</p>	 <p>s500_suzuki.AP PDL</p>	

3-5 WRITE-Ⅲの操作

WRITE-Ⅲの操作 起動

1.アプリケーションのスタート

インストールが終了した時点で、デスクトップに右のようなアイコンが作成されます。ダブルクリック(右クリック→開く)で「WRITE-Ⅲ」をスタートします。

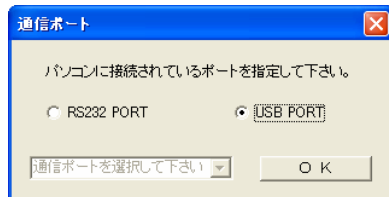


2.通信ポートの選択

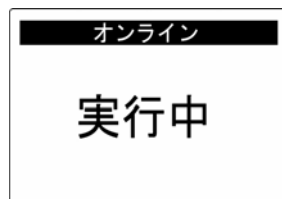
S500が接続されているパソコンのポートを設定します。USB 接続の場合は USB をクリックして[OK]をクリックします。また、RS232ポートを使用する場合は通信ポートを選択して[OK]をクリックします。

S500との通信が可能になると、S500の画面が「実行中」にかわります。

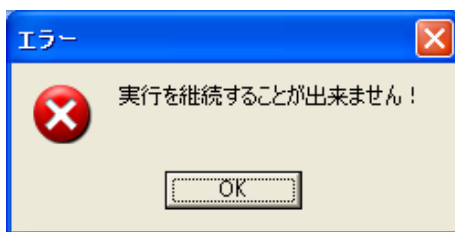
パソコン画面



S500画面

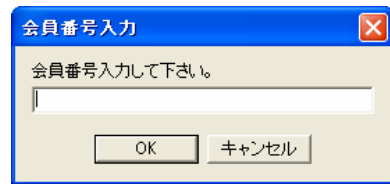


接続エラー: S500に電源が入っていない場合や接続ポートが違う場合は下のようなエラーが表示されます。



3. 会員番号の入力

“会員番号”は S500本体裏にある“ID”を入力します。



会員番号入力

会員番号入力して下さい。

OK キャンセル



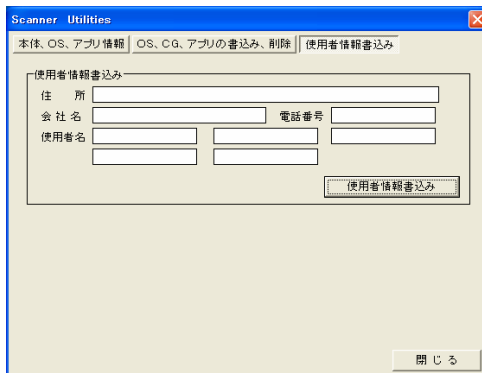
入力エラー: 会員番号(ID)が S500本体の番号と一致しない場合に下のようなエラーが表示されます。



WRITE-IIIの操作 使用者情報の書込み

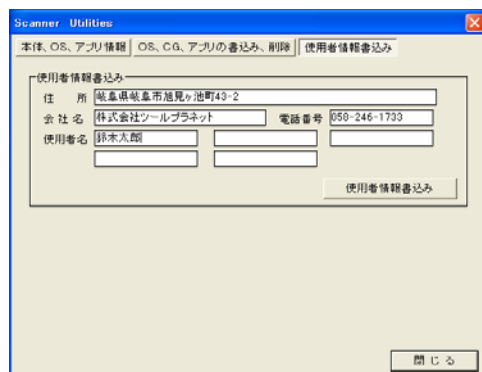
1.使用者情報の書込み

[使用者情報の書込み]をクリックすると、S500本体に使用者の情報を書込む事ができます。



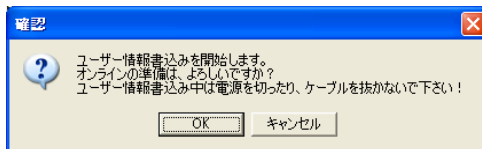
2.書込み

使用者情報に必要な事項を入力、確認し、[使用者情報書込み]ボタンをクリックします。



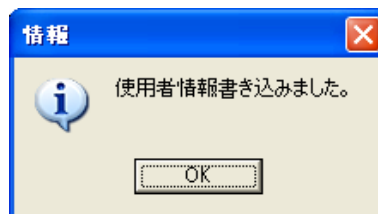
3.書込みの確認

使用者情報を S500に書込みます。
準備が整いましたら[OK]をクリックします。



4.書込み完了

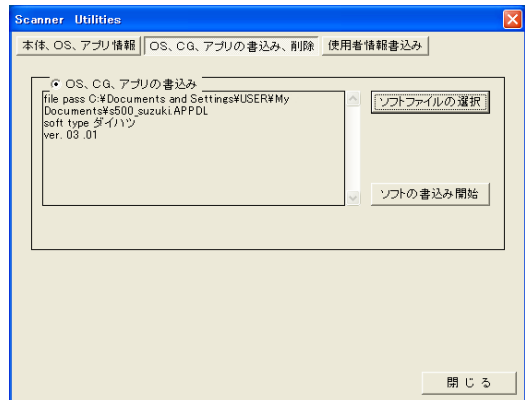
使用者情報の書込みが完了しましたら右のようなウィンドウが表示されます。
[OK]をクリックします。



WRITE-IIIの操作 ソフトファイルのインストール

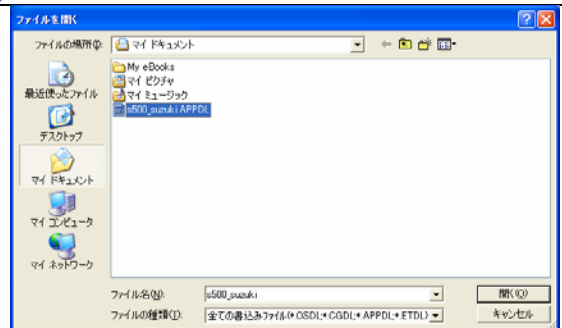
1.書込み用アプリの選択

S500にインストールするソフトファイルを選択します。
[ソフトファイルの選択]ボタンをクリックします。

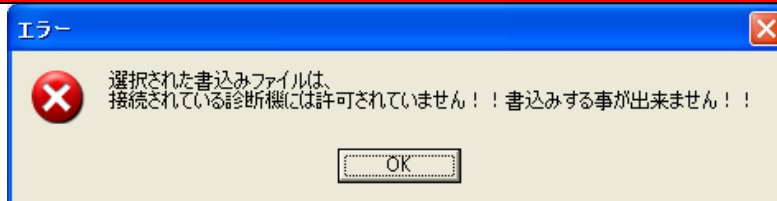


2.書込み用アプリを開く

インストールするファイルを選択して[開く(O)]をクリックします。
※インストールするファイルはこちらからお送りしたファイルです。CD-ROMでお送りした場合はCD-ROMの中あります。事前に解凍作業が必要です。

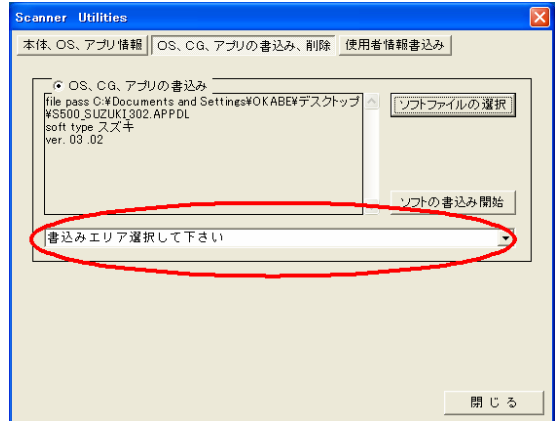


エラー: S500の ID とファイルの情報が一致しない場合に下記のエラーが表示されます。



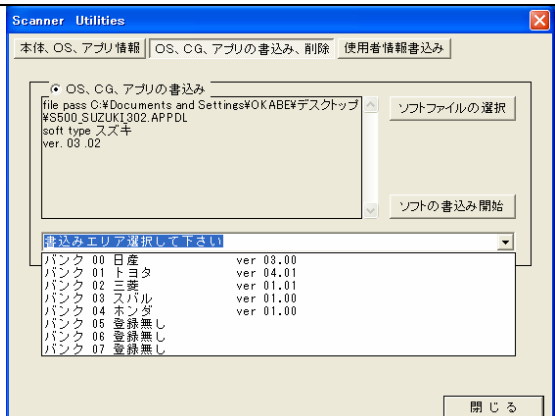
3.書込みエリアの選択

「2.書込み用アプリを開く」でインストールファイルを選択すると、書込みエリア(バンク)選択メニューが表示されますので、本体のどのエリア(バンク)にソフトをインストールするかを選択します。

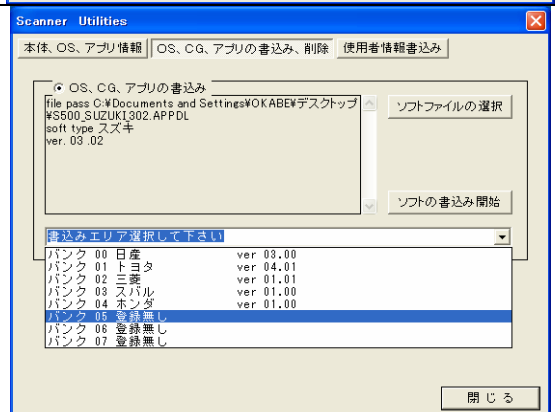


▼をクリックすると、S500本体のエリアが表示されます。

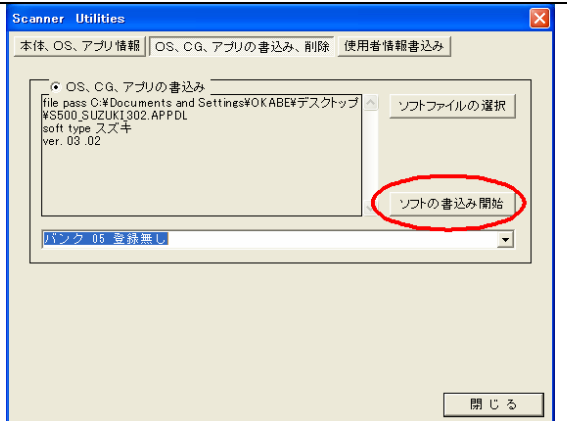
※修正版、バージョンアップなどの場合は、選択したソフトのエリア(バンク)を選択してください。(この場合、ソフトは新しいバージョンに上書きされます。)また、新規のソフトの場合は「登録無し」のエリア(バンク)を選択してください。



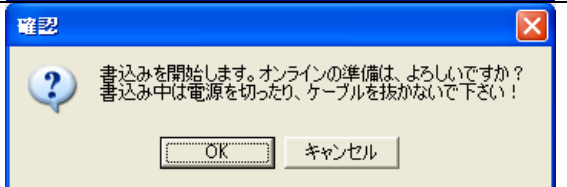
今回インストールするエリア(バンク)をクリックします。



画面が戻り、選択したエリア(バンク)が表示されたら「ソフトの書き込み開始」をクリックします。

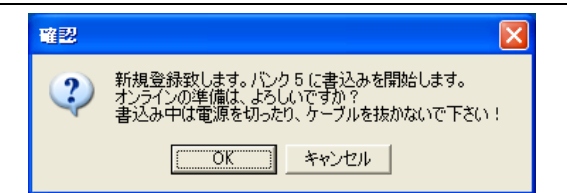


書き込みの確認です。
S500の画面は「待機中」である事を確認して「OK」をクリックします。



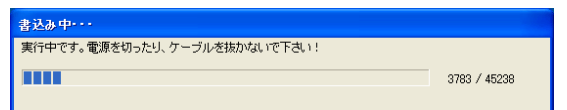
4.書き込み中の注意

書込む前にパソコンで違う作業を行っている場合は、全て終了してください。確認後[OK]をクリックします。
(上書きの場合は「書き込みが」が「上書き」と表示されます。)



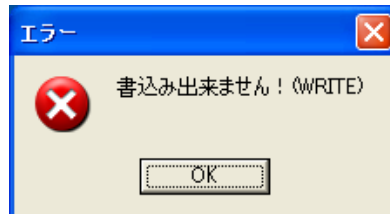
5.書き込み中

書き込み中はパソコンでの作業は行わないでください。他の作業を開始したりすると書き込み作業が中断してソフトが停止してしまいます。



※—グラフが止まって動かなくなった場合はなんらかの原因で通信が遮断された可能性があります。WRITE-IIIを終了して初めからやり直してください。

エラー：S500に電源が入っていない場合や接続ポートが違う場合は下のうなエラーが表示されます。



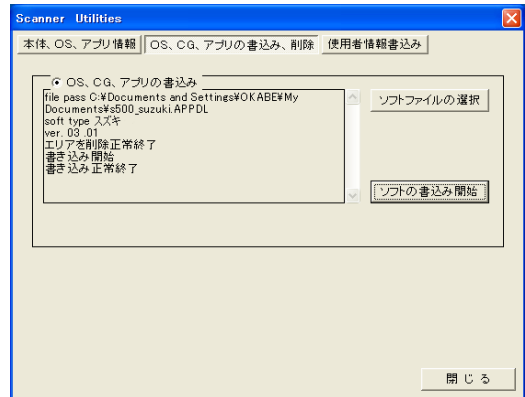
6.書き込み完了の確認

書き込みが完了すると右のようなウィンドウが表示されます。[OK]をクリックします。



7.書き込みログの表示

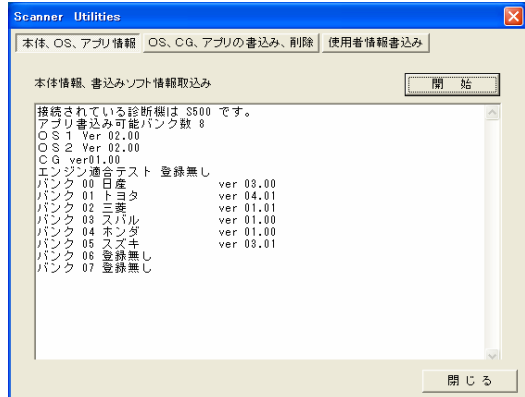
書き込みが完了すると、“Scanner Utilities”が先程行った作業を表示します。書き込みが正常に終了している事を確認してください。



8.本体情報の確認

[本体、OS、アプリ情報]でインストールしたソフトウェアが正確に表示されているか確認します。

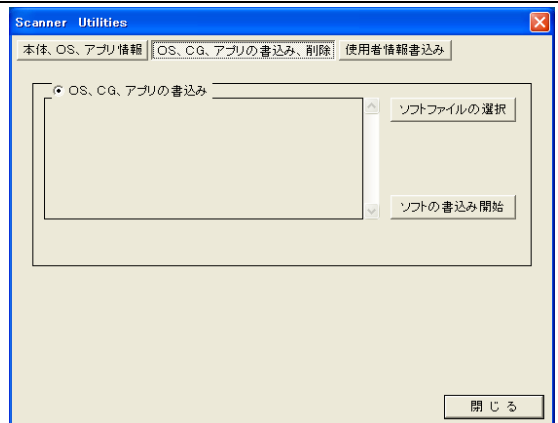
[閉じる]ボタンをクリックして終了します。



WRITE-IIIの操作 OSファイルのインストール

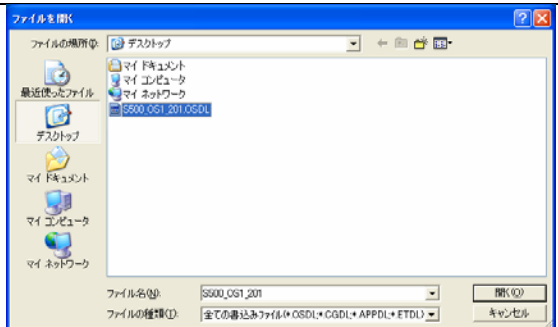
1.書き込み用アプリの選択

S500にインストールするソフトファイルを選択します。
[ソフトファイルの選択]ボタンをクリックします。

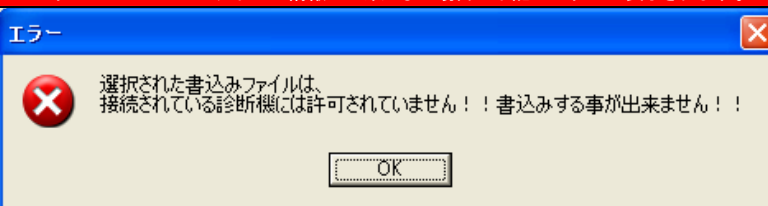


2.書き込み用アプリを開く

インストールするファイルを選択して[開く(O)]をクリックします。
※インストールするファイルはこちらからお送りしたファイルです。CD-ROMでお送りした場合はCD-ROMの中にあります。

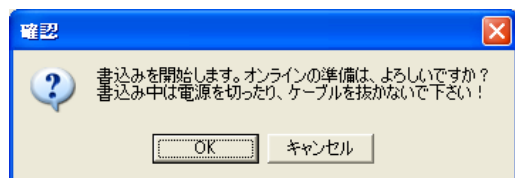


エラー: S500のIDとファイルの情報が一致しない場合に下記のエラーが表示されます。



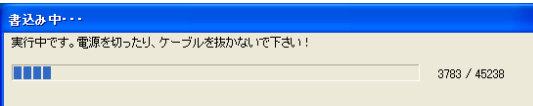
3.確認

S500の準備「パソコンとの接続」(P.5参照)を確認して接続が正しければ[OK]をクリックします。



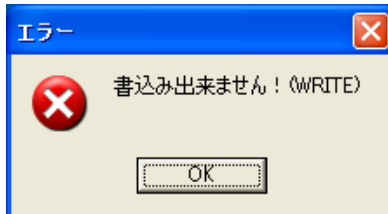
5.書き込み中

書き込み中はパソコンで他の作業は行わないでください。他の作業を開始したりすると書き込み作業が中断してソフトが停止してしまいます。



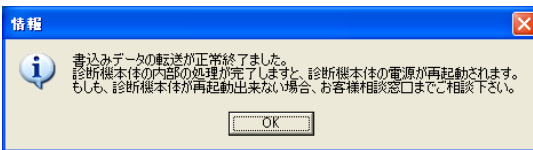
※バーグラフが止まって動かなくなった場合はなんらかの原因で通信が遮断された可能性があります。WRITE-Ⅲを終了して初めからやり直してください。

エラー: S500に電源が入っていない場合や接続ポートが違う場合は下のうなエラーが表示されます。



6.書き込みデータ転送完了の確認

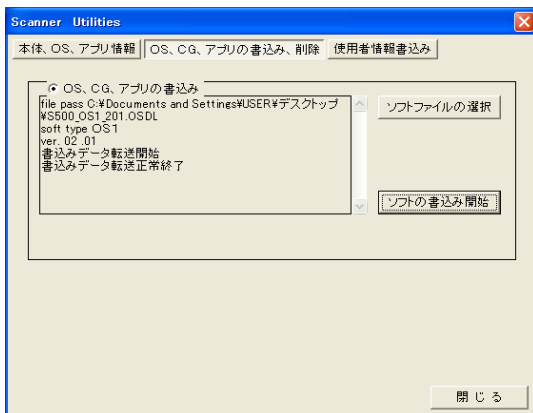
「書き込みデータ転送完了の確認」が表示されます。[OK]をクリックします。
同時に S500への書き込みが開始されます。(P.15参照)



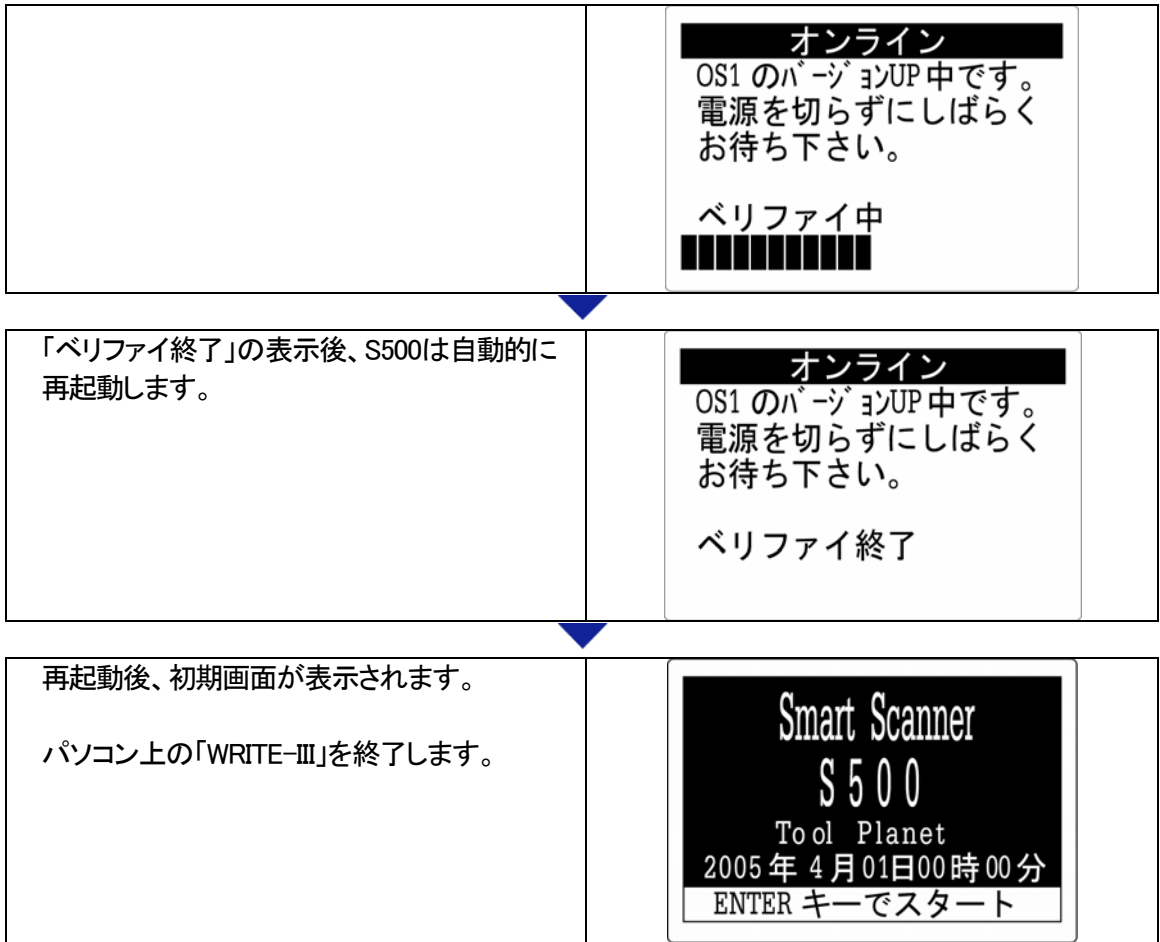
「書き込みデータ転送ログ」を表示します。
転送が正常に終了している事を確認してください。

S500は書き込み作業中です。

S500本体を確認して、S500が再起動して初期画面になっている事を確認して[閉じる]をクリックします。



パソコン上で書き込みが完了が表示されても、S500本体は作業を終了していません。S500本体は作業が終了すると自動的に再起動します。S500本体が作業を終了するまで、「WRITE-Ⅲ」を終了(閉じるボタン)しないでください。



4.「WRITE-III」のアンインストール(削除)

プログラムのアンインストール

Windows XP の場合

[スタート]→[コントロールパネル]→[プログラムの追加と削除]から削除してください。

Windows 2000の場合

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[アプリケーションの追加と削除]から削除してください。

付録

展開ウィザード (ZIPファイルの解凍Windows XPの場合)

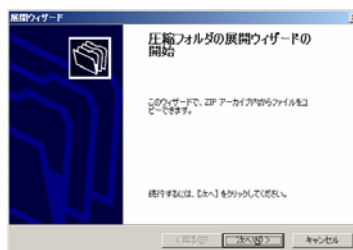
展開の開始

ファイルをリックすると、右のようなメニューが表示されます。[すべて展開(A)]をクリックすると「展開ウィザード」が開始されます。



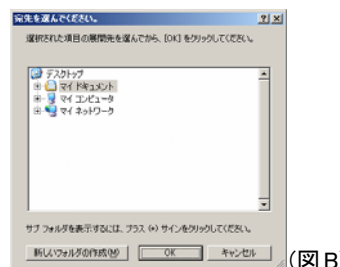
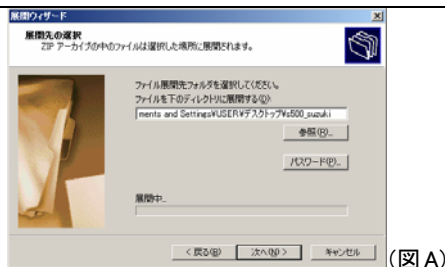
圧縮フォルダの展開ウィザードが開始

[次へ(N)]をクリックします。



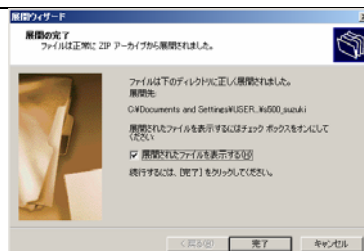
展開先の場所

ウィンドウが変わり(図A)、展開(解凍)する場所を確認します。[参照(B)]をクリックすると図Bのようなウィンドウが表示され展開する場所を変更できます。変更がなければ[次へ(N)]をクリックします。



展開の終了

展開(解凍)が終了しました、中段の「展開されたファイルを表示する(H)」をクリックを入れて「完了」をクリックするとウィンドウを閉じたあと展開したファイルが表示されます。



Smart Scanner S500

プリンター・PC-SCANNER 取扱説明書

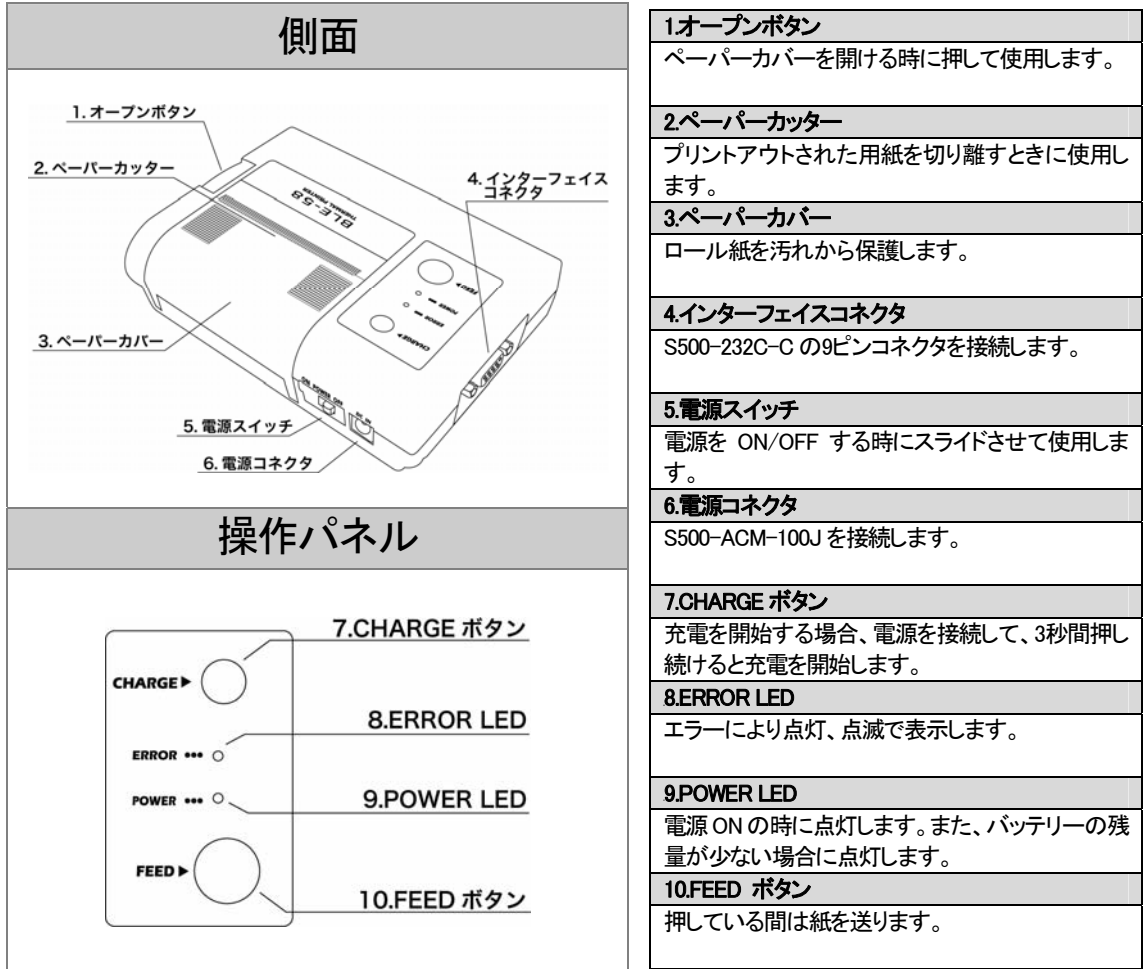


プリンター (S500-P-58-TP)
PC SCANNER

取扱説明書

1.S500 プリンターの説明

各部名称



※プリンターケーブルとパソコン接続用ケーブルは間違えやすいので注意してください。

印刷方法

※「記録方法の選択」でプリンタを選択した場合のみ印刷が可能です。設定方法は P.12をご覧ください。

※ 印刷中にバッテリーが消耗したら POWER LED が点滅します。印刷途中の場合、AC アダプター (S500-BLE-100V+S500-ACM-100J) を接続して残りのデータを印刷できます。

<p>1.</p>	<p>印刷できる画面では 印刷 キーが表示されます。</p> <p>印刷 キーを選択して ENTER キーで実行します。</p> <p>プリンターとの接続が正しければ、印刷を開始します。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">エンジン 自己診断</p> <p>Page 1/ 1</p> <p>*** 異常あり *** 時期</p> <p>13 水温センサ 0</p> <p>21 点火一次信号 0</p> <p style="text-align: center;">印刷 記録 消去</p> </div>
	<p>接続が正しくない場合は右のようなエラーメッセージが表示されます。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">プリンタ異常</p> <p>印字が出来ません。 プリンタの電源、ケーブル等を確認して下さい。</p> </div>

充電方法

<p>1.</p>	<p>AC アダプター (S500-BLE-100V+S500-ACM-100J) を接続します。</p>
<p>2.</p>	<p>電源スイッチを「ON」にします。</p>
<p>3.</p>	<p>CHARGE スイッチを3秒間押し続けます。充電を開始すると、POWER LED と ERROR LED が交互に点滅します。</p>
<p style="text-align: center;">注意: バッテリーの性能が低下することがありますので、次のことは必ず守ってください。</p>	
<p>・0°C~40°Cの温度範囲で充電してください。</p>	
<p>4.</p>	<p>充電が終了したら、電源スイッチを「OFF」にし、AC アダプター (S500-BLE-100V+S500-ACM-100J) を外します。(充電時間は約12時間です。)</p>

2.PC SCANNERの説明

PC SCANNER CD-ROM からパソコンにインストールして、S500に保存したメモリをパソコンに保存、閲覧、印刷しお客様の管理ができます。

また、保存したデータは S500に読み込み比較などが可能です。

3.セット内容







	型番	品名	数量
1	CD-ROM	PC SCANNER インストール CD	1

動作環境	PC	DOS/V
	ドライブ	CD-ROM ドライブ
	対応 OS	WINDOWS XP/2000
	ハードディスク	PC SCANNER 本体: 100MB 以上を推奨
	ポート	シリアル(RS-232C 9ピンポート)
	メモリ	64MB 以上を推奨
	その他	マウス、キーボードなどの入力装置

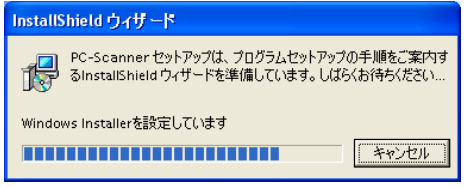
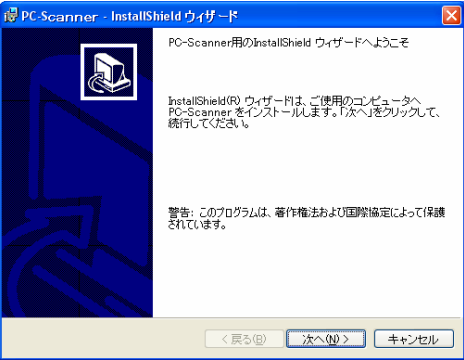
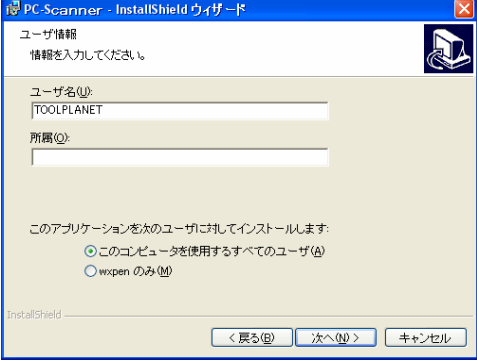
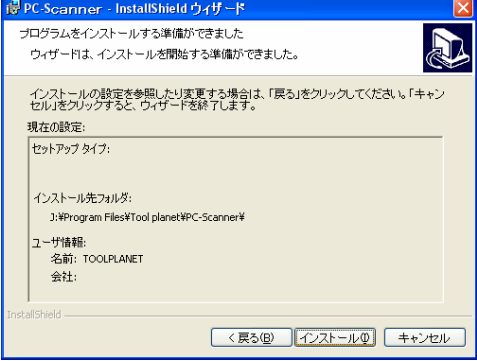
※このソフトは Windows 専用です。

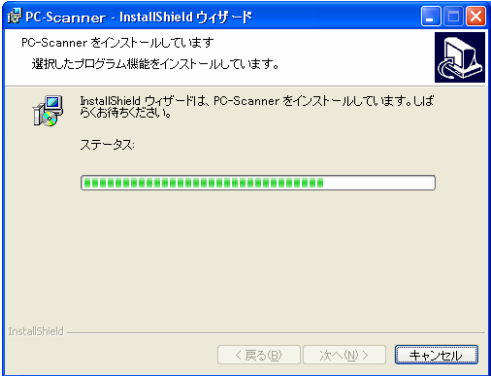

※Windows(R)は、Microsoft(R) Windows(R) Operating system の略称として表記しています。

注意事項

本書を必ずよく読み、ご理解された上でご利用ください。	
	PC SCANNER をご使用になる前に必ず説明書をよく読んでください。また、本書は必ず大切に保管し、不明な点がある場合は再読し、よく理解してご使用ください。
	本書は、株式会社ツールプラネット製 PC SCANNER ソフトについての使用方法を説明するものです。
	PC SCANNER は株式会社ツールプラネット製 S500と通信し、データの読取り、書込み、印刷、管理するプログラムです。この目的以外でのご利用のデータの保証はありません。
	PC SCANNER のデザイン、機能、仕様は性能や安全性の向上のための目的に予告無く変更する場合があります。
	本書及び製品の著作権および全ての権利は株式会社ツールプラネットに帰属します。
	弊社は安全にご利用いただく為に検討、対策を行っておりますが、潜在的な危険、誤使用について全てを予見できません。お客様の責任で理解、判断し正しく安全にご利用ください。

4. インストール/アンインストール方法

<p>1.</p>	<p>セットアップ CD-ROM をパソコンに挿入すると、自動的にウィザードが開きます。 (CD-ROM の設定で「自動再生」が設定されていない場合は手動で行ってください。)</p>	
<p>2.</p>	<p>インストールウィザードが表示されます。 次へ(N) > をクリックします。</p>	
<p>3.</p>	<p>ユーザー情報の入力画面では「ユーザー名」と「所属」を入力します。 次へ(N) > をクリックします。 ※下段「このアプリケーションを次のユーザーに対してインストールします。」の項目は、ご使用のパソコンの使用状況により選択してください。</p>	
<p>4.</p>	<p>インストール先のフォルダ、ユーザー情報が表示されます。入力に間違いが無いか確認します。 インストール(I) をクリックします。 また、間違っていれば < 戻る(B) ボタンをクリックして、前画面で入力します。</p>	

<p>5.</p>	<p>インストールが開始されます。</p>	
<p>6.</p>	<p>インストールが完了しました。 [スタート]-[すべてのプログラム]-[Tool planet]-[PC SCANNER] またはデスクトップにあるアイコンから起動できます。</p>	

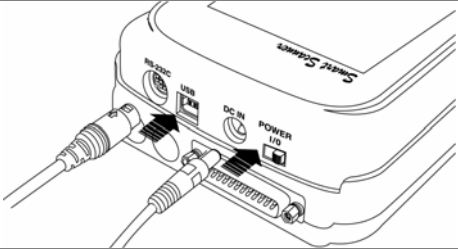
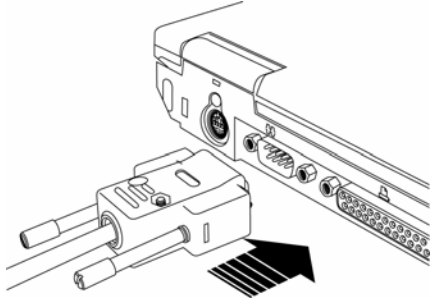
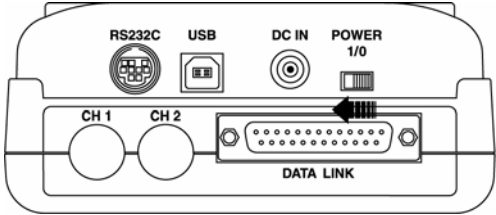
プログラムの削除方法

インストールしたプログラムは通常「アプリケーションの追加と削除」もしくは「プログラムの追加と削除」で行います。アンインストールは指示通りに行ってください。

この時、保存したデータは「マイドキュメント」など PC-SCANNER のフォルダと別の場所に保存した場合は削除されません。

5.S500との接続方法

RS232接続の場合

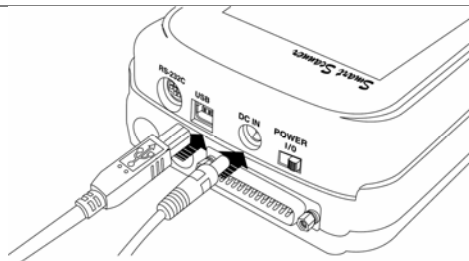
<p>1.</p>	<p>S500本体に接続ケーブル(S500-232C-C)とAC電源アダプター(S500-AC-C)を接続します。AC電源アダプター(S500-AC-C)の片側をACコンセントに接続します。</p>	
<p>2.</p>	<p>接続ケーブル(S500-232C-C)をパソコンに接続します。</p> <p>※パソコンにシリアルポート(RS-232C 9ピンポート)が装備されていないパソコンの場合は、市販のUSB変換ケーブルもお使いいただけます。その場合、USB変換ケーブルのドライバーをインストールして、ポートの確認をしてください。</p>	
<p>3.</p>	<p>S500の電源スイッチで電源を入れます。</p>	

USB 接続の場合

USB 接続の場合、初めてパソコンと接続した場合にドライバーのインストールが必要です。

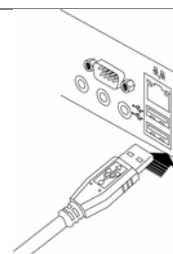
S500Iにケーブルを接続する

S500本体に接続ケーブル(USB-CABLE)とAC電源アダプター(S500-AC-C)を接続します。AC電源アダプター(S500-AC-C)の片側をACコンセントに接続します。



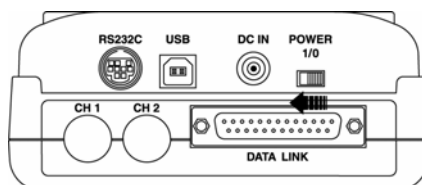
パソコンにケーブルを接続する

接続ケーブル(USB-CABLE)をパソコンに接続します。



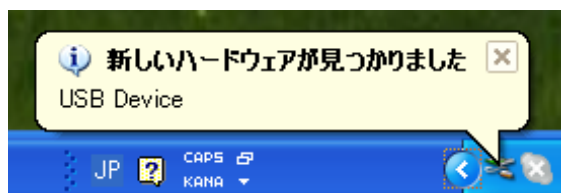
電源スイッチを入れる

S500の電源スイッチで電源を入れます。



パソコンの OS が S500を発見します。

S500を電源を入れた状態で接続すると、パソコンの OS が S500を発見してドライバーのインストールウィザードがはじまります。



USBドライバーのインストール開始

「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」が始まり、USBドライバーをインストールします。「一覧または特定の場所からインストール(詳細)(S)」をクリックして「次へ」をクリックします。



ドライバーの選択

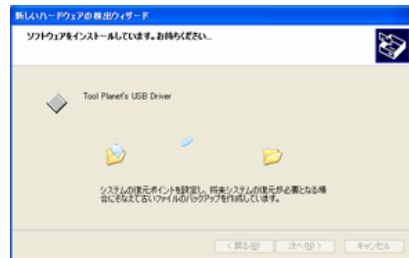
「フォルダの参照」ウィンドウが表示されます。
ドライバーのある場所を選択して「OK」をクリックします。



Windows がドライバーを探します。



ファイルのインストールが開始されます。





インストール完了

インストールが完了しました。

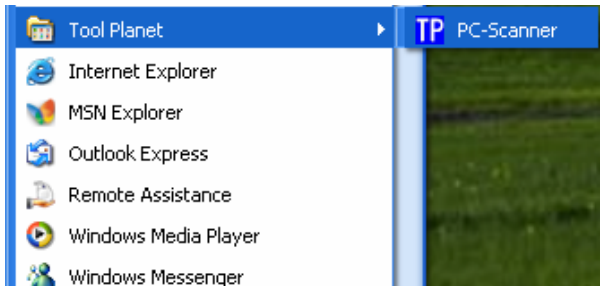
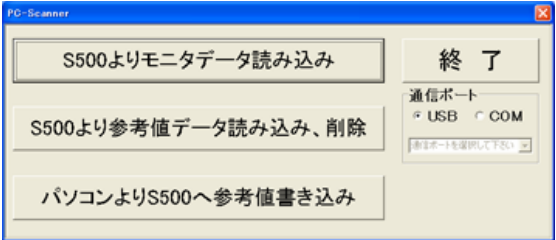
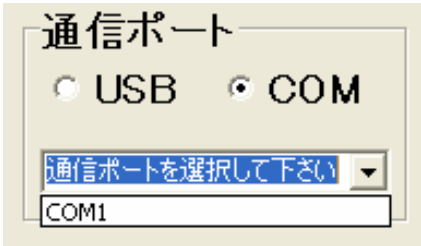


6.PC SCANNERを起動する前に

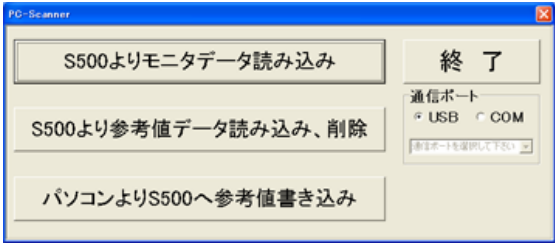
1.	<p>電源を入れると初期画面が表示されます。 ENTER キーで実行します。</p>	 <p>Smart Scanner S500 Tool Planet 2005年4月01日00時00分 ENTER キーでスタート</p>				
2.	<p>▲▼キーで保存したメーカーを選択し、ENTER キーで実行します。</p>	 <p>自動車メーカー選択</p> <table border="1"> <tr><td>日産</td></tr> <tr><td>トヨタ</td></tr> <tr><td>三菱</td></tr> <tr><td>スバル</td></tr> </table>	日産	トヨタ	三菱	スバル
日産						
トヨタ						
三菱						
スバル						
3.	<p>メインメニューが表示されたら▲▼キーで オンライン を選択してENTER キーで実行します。</p>	 <p>メインメニュー</p> <table border="1"> <tr><td>記録データクリア</td></tr> <tr><td>診断</td></tr> <tr><td>オンライン</td></tr> <tr><td>ユーティリティー</td></tr> </table>	記録データクリア	診断	オンライン	ユーティリティー
記録データクリア						
診断						
オンライン						
ユーティリティー						
4.	<p>「待機中」というメッセージが表示され、S500がパソコンと通信可能な状態になります。 パソコンで、PC SCANNER を起動してください。</p>	 <p>オンライン</p> <p>待機中</p>				

7.PC SCANNERの操作

起動方法

1.	<p>デスクトップにある「TP」のアイコンをダブルクリックします。</p> <p>※デスクトップにアイコンがない場合は、[スタート]-[すべてのプログラム]-[Tool Planet]-[PC SCANNER] または、[スタート]-[プログラム]- [Tool Planet]-[PC SCANNER]をクリックしてプログラムをスタートさせます。</p>										
2.	<p>スタート画面が表示されます。</p> <p>USB 接続の場合は USB をクリックします。</p> <p>また、RS232接続の場合は通信ポートを選択します。</p>										
3.	<p>通信ポートをお使いのパソコンの COM ポートに設定します。</p>										
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%; padding: 5px; text-align: center;">S500よりモニタデータ読み込み</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">→</td> <td style="width: 30%; padding: 5px; text-align: center;">P.65へ</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px; text-align: center;">S500より参考値データ読み込み、削除</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td style="padding: 5px; text-align: center;">P.74へ</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px; text-align: center;">パソコンよりS500へ参考値書き込み</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td style="padding: 5px; text-align: center;">P.78へ</td> </tr> </table>			S500よりモニタデータ読み込み	→	P.65へ	S500より参考値データ読み込み、削除	→	P.74へ	パソコンよりS500へ参考値書き込み	→	P.78へ
S500よりモニタデータ読み込み	→	P.65へ									
S500より参考値データ読み込み、削除	→	P.74へ									
パソコンよりS500へ参考値書き込み	→	P.78へ									

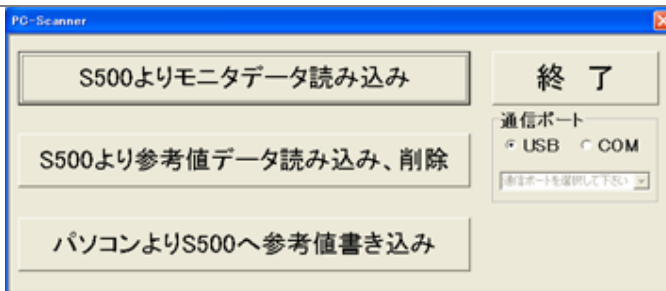
終了方法

1.	<p>スタート画面で 終了 ボタンをクリックします。</p>	
2.	<p>S500の画面が「実行中」から「待機中」に変わりましたら、ESC キーを押して、S500の電源を切れる状態まで画面を戻します。</p> <p>S500の電源を切ります。</p>	<div data-bbox="760 523 1133 784" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>オンライン</p> <p>待機中</p> </div> <div data-bbox="760 826 1133 1087" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>電源を切る準備ができました。 本体の電源をお切り下さい。 ESCキーで再起動します。</p> </div>

S500よりモニタデータの読み込み

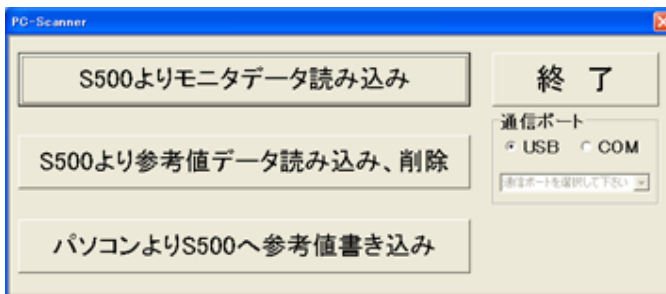
お客様の登録

1.



「PC SCANNER」を起動します。(スタート画面が表示されます。)

2.

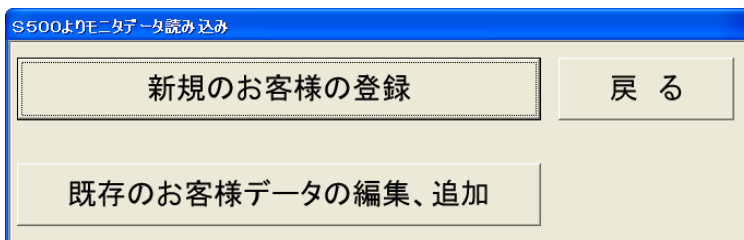


通信ポートを S500とパソコンを接続するポート USB または COM(RS-232C 9ピンポート)に設定します。

S500よりモニタデータ読み込み

をクリックします。

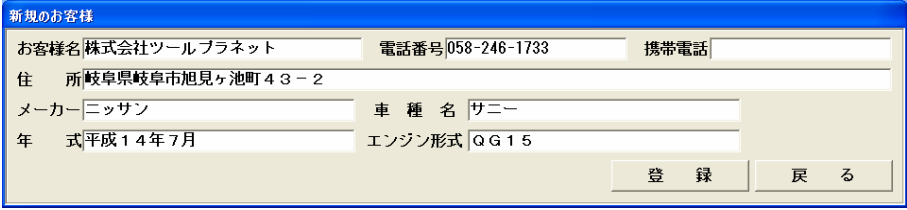

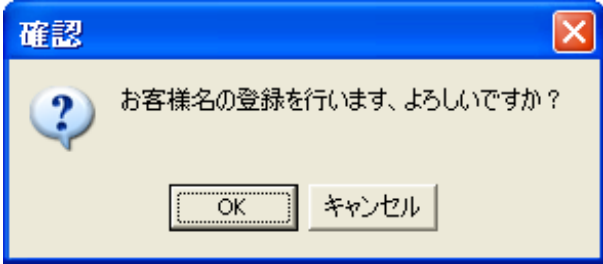

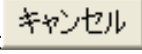
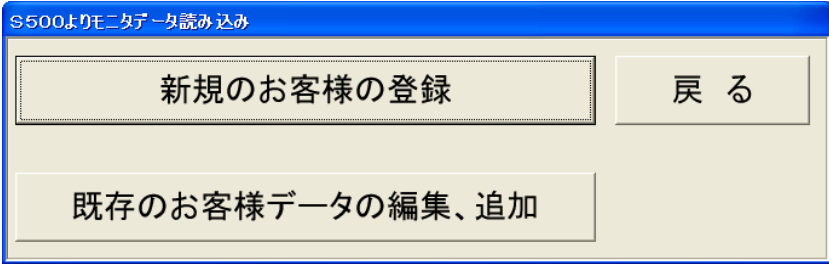
3.



新規の場合は **新規のお客様の登録** を、すでに登録済みのお客様の場合は

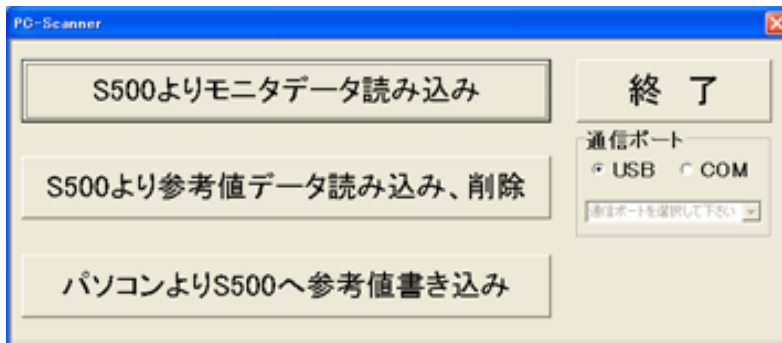
既存のお客様データの編集、追加

をクリックします。

4.	
	<p>新規のお客様の場合</p> <p>「新規のお客様」というウィンドウが表示されます。各項目の入力をし、 ボタンをクリックします。</p>
5.	
	<p>「確認」ウィンドウが表示されますので登録をする場合は 、登録しない場合は  ボタンをクリックします。</p>
6.	
	<p>「S500よりモニタデータの読み込み」ウィンドウに戻ります。</p>

既存のお客様データの編集、追加

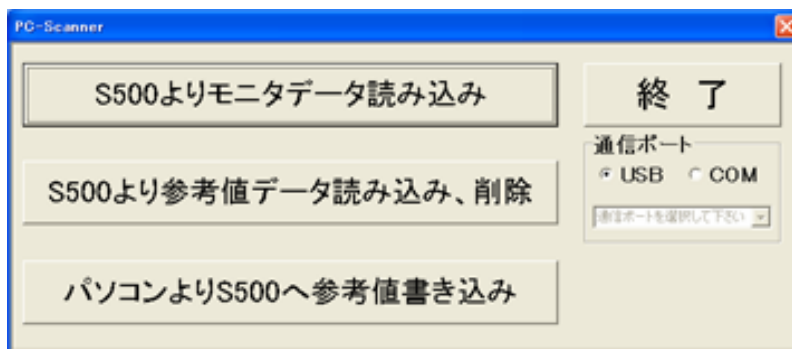
1.



S500よりモニタデータ読み込み

をクリックします。

2.



既存のお客様データの編集、追加

をクリックします。

新規のお客様の登録

※お客様が新規の場合は

をクリックして登録します。

→P.47

3.

既存のお客様にデータの追加及び変更

お客様名 電話番号 携帯電話

住 所

メーカー 車 種 名

年 式 エンジン形式






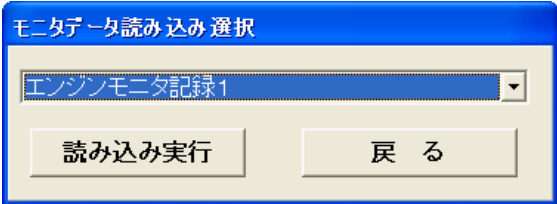


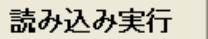
コメント

データ① データ②


「既存のお客様データの追加及び変更」画面が表示されます。

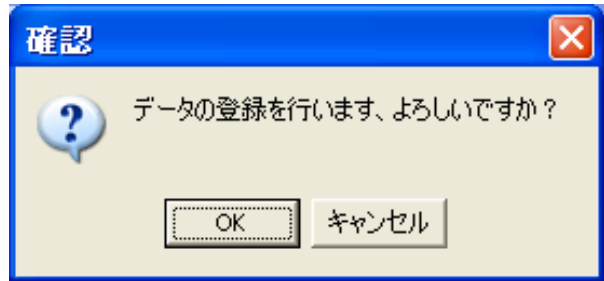
下段の ボタンをクリックします。

ボタン説明			
ボタン画像	<input type="button" value="印 刷"/>	<input type="button" value="データ取り込み"/>	<input type="button" value="データ削除"/>
説明	パソコンのプリンターで印刷します。	S500と通信し、S500のデータを取り込みます。	お客様のデータを削除します。
ボタン画像	<input type="button" value="お客様削除"/>	<input type="button" value="お客様追加変更"/>	<input type="button" value="戻 る"/>
説明	お客様の情報(名前、住所など)を削除します。	お客様の情報を変更します。	前画面に戻ります。

	 <p style="text-align: center;">S500待機中画面</p>
<p>4. 「待機中」であることを確認します。をクリックすると通信が始まります。</p> <p>通信が始まると S500の画面は「実行中」に変わります。</p> <p>PC SCANNERを終了するでは、S500のボタン操作はできません。</p>	 <p style="text-align: center;">S500通信中画面</p>
<p>通信がうまくいかない場合は右のようなエラーが表示されます。接続を確認してをクリックします。</p>	
<p>5.</p>	 <p>のをクリックして読み込みたいデータを表示させ、をクリックします。</p>



6.

選択して読み込むと確認ウィンドウが表示されます。登録する場合は  をクリックします。



7.



データ① **データを選択して下さい。** の  をクリックして、
 データ① **2005年5月20日0時34分55秒エンジンモニタ記録** の  をクリックして、
 データを選択して下さい。
2005年5月20日0時34分29秒エンジン自己診断記録
2005年5月20日0時34分55秒エンジンモニタ記録 1 (保存したデータ)を表示させます。

同時にデータ②にも同じデータが保存されます。同じお客様のデータであれば、データ①をデータ②には同じデータも表示表示できます。また、データ①に「エンジンモニタ記録」、データ②に「自己診断記録」や、データ①に車検時などに保存しておいた正常時の「エンジンモニタ記録」、データ②に今回とりこんだ異常時の「エンジンモニタ記録」というように別のデータも表示できます。

8.

既存のお客様にデータの追加及び変更

お客様名 株式会社ツールプラネット 電話番号 058-246-1733 携帯電話

住 所 岐阜県岐阜市旭見ヶ池町 43-2

メーカー ニッサン 車種名 サニー

年 式 平成14年7月 エンジン形式 QG15

コメント

データ① 2005年5月20日0時34分55秒エンジンモニタ記録

データ項目	0rpm
クレン(POS)	0.08V
1770-データ(L)	35°C
水温センサ	0.00V
02センサ(L)	LEAN
02センサモタ(L)	0km/h
車速センサ	11.9V
バッテリー電圧	5.10V
バッテリー電圧(1)	5.00V
排気温度センサ(L)	0.7ms
噴射タイミング(L)	208TDC
点火時期	0%
AACN 制御	100%
空燃比補正(L)	ON
アイドル判定	OFF
アイドル信号	OFF
ニュートラル	OFF
バッテリー信号	OFF
エンジン信号	OFF
エンジンブレーキ	OFF
エンジンブレーキリレー	OFF
エンジンブレーキリレー	OFF

データ② 2005年5月20日0時34分55秒エンジンモニタ記録

データ項目	0rpm
クレン(POS)	0.08V
1770-データ(L)	35°C
水温センサ	0.00V
02センサ(L)	LEAN
02センサモタ(L)	0km/h
車速センサ	11.9V
バッテリー電圧	5.10V
バッテリー電圧(1)	5.00V
排気温度センサ(L)	0.7ms
噴射タイミング(L)	208TDC
点火時期	0%
AACN 制御	100%
空燃比補正(L)	ON
アイドル判定	OFF
アイドル信号	OFF
ニュートラル	OFF
バッテリー信号	OFF
エンジン信号	OFF
エンジンブレーキ	OFF
エンジンブレーキリレー	OFF
エンジンブレーキリレー	OFF

印刷 データ取り込み データ削除 お客様削除 お客様追加変更 戻る

データ①:エンジンモニタ記録

データ②:エンジンモニタ記録

9.

既存のお客様にデータの追加及び変更

お客様名 株式会社ツールプラネット 電話番号 058-246-1733 携帯電話

住 所 岐阜県岐阜市旭見ヶ池町 43-2

メーカー ニッサン 車種名 サニー

年 式 平成14年7月 エンジン形式 QG15

コメント

データ① 2005年5月20日0時34分55秒エンジンモニタ記録

データ項目	0rpm
クレン(POS)	0.08V
1770-データ(L)	35°C
水温センサ	0.00V
02センサ(L)	LEAN
02センサモタ(L)	0km/h
車速センサ	11.9V
バッテリー電圧	5.10V
バッテリー電圧(1)	5.00V
排気温度センサ(L)	0.7ms
噴射タイミング(L)	208TDC
点火時期	0%
AACN 制御	100%
空燃比補正(L)	ON
アイドル判定	OFF
アイドル信号	OFF
ニュートラル	OFF
バッテリー信号	OFF
エンジン信号	OFF
エンジンブレーキ	OFF
エンジンブレーキリレー	OFF
エンジンブレーキリレー	OFF

データ② 2005年5月20日0時34分29秒エンジン自己診断記録

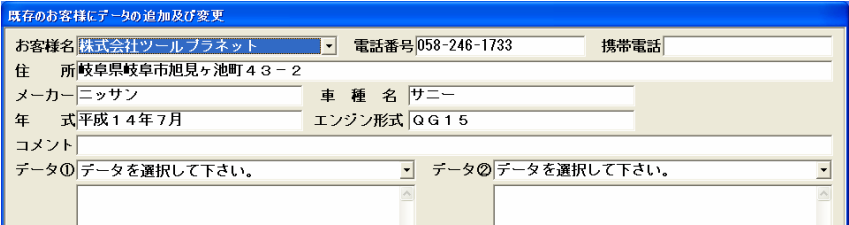
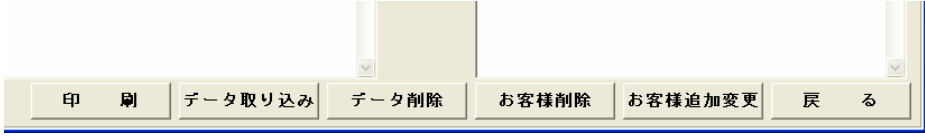
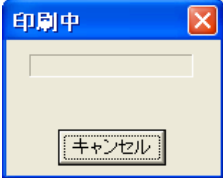
*** 異常あり ***	時期
13 水温センサ	0
21 点火一次信号	0

印刷 データ取り込み データ削除 お客様削除 お客様追加変更 戻る


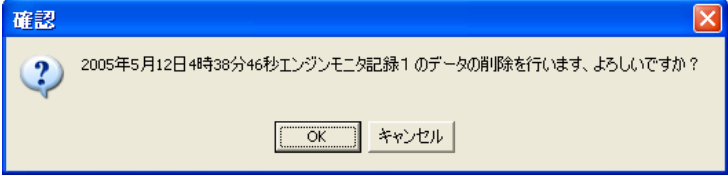

データ①:エンジンモニタ記録





データ②:エンジン自己診断記録



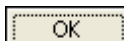
印刷

1.		
	<p>「既存のお客様にデータの追加及び変更」ウィンドウで「お客様名」、「データ①」、「データ②」をそれぞれ印刷するデータに変更します。</p>	
2.	 <p>下段の 印刷 をクリックします。</p>	
3.	<p>「印刷中」のウィンドウが表示され、プリントアウトされます。</p>	

データ削除

1.	<p>データ① 2005年5月12日4時41分18秒エンジンモニタ記録 の  をクリックして、削除したいデータを表示させます。</p>	
2.	<p>データ削除 をクリックします。</p>	
3.		
	<p>クリックすると確認ウィンドウが表示されますので、先ほど選択したデータかどうかを確認して  をクリックします。</p>	

お客様削除	
1.	<p>お客様名 株式会社ツールプラネット の  をクリックして、削除するお客様の名前を表示させます。</p>
2.	<p>お客様削除 をクリックします。</p>
3.	<div style="border: 1px solid blue; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: right; margin: 0;">確認 </p> <p style="text-align: center; margin: 10px 0;"> 株式会社ツールプラネット 様の削除を行います、よろしいですか？</p> <p style="text-align: center; margin: 0;"> <input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/> </p> </div> <p>クリックすると確認ウィンドウが表示されますので、先ほど選択したお客様かどうかを確認して  をクリックします。</p>

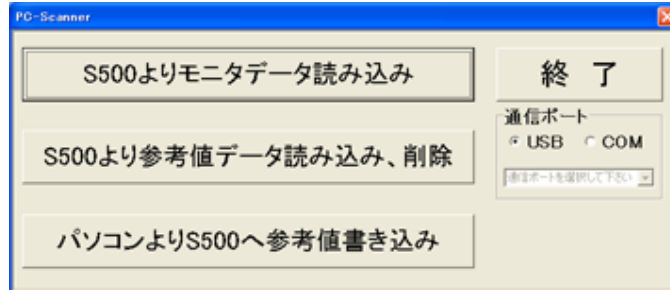
お客様追加・変更	
1.	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="font-size: small; margin: 0;">既存のお客様にデータの追加及び変更</p> <p>お客様名 株式会社ツールプラネット 電話番号 058-246-1733 <input type="text" value="携帯電話"/></p> <p>住 所 岐阜県岐阜市旭見ヶ池町43-2</p> <p>メーカー ニッサン 車 種 名 サニー</p> <p>年 式 平成14年7月 エンジン形式 QG15</p> <p>コメント <input type="text"/></p> <p>データ① <input type="text" value="データを選択して下さい。"/> データ② <input type="text" value="データを選択して下さい。"/></p> </div> <p>変更する場所を変更し、お客様追加変更 をクリックします。</p> <p>※変更が可能な場所は「お名前」、「電話番号」、「携帯電話」、「メーカー」、「車種名」、「年式」、「エンジン型式」です。</p>
2.	<div style="border: 1px solid blue; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: right; margin: 0;">確認 </p> <p style="text-align: center; margin: 10px 0;"> 株式会社ツールプラネット 様の追加変更を行います、よろしいですか？</p> <p style="text-align: center; margin: 0;"> <input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/> </p> </div> <p>確認ウィンドウが表示されますので、 をクリックして終了です。</p>

S500より参考値データの読み込み・削除

S500を接続して、「待機中」の画面まで設定しておきます。(P.44参照)

参考値データの読み込み

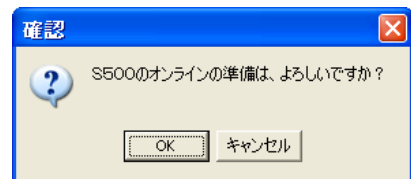
1.



メイン画面で **S500より参考値データ読み込み、削除** をクリックします。

2.

S500が通信可能状態か聞いてきますので、通信可能な場合は **OK** をクリックします。



3.

S500との通信が始まります。
通信して S500に参考値がない場合は右のようなウィンドウが表示されます。
参考値がある場合は次の画面になります。



ただいま通信中です。しばらくお待ちください。

4.

S500より参考値データ読み込み

001 サニ B15型系 QG15DE '98.10~

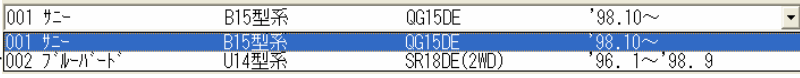
車種名 車輛形式

エンジン形式 年式

走行距離

コメント

参考値の保存 S500の参考値削除 読み込み実行 戻る

	 <p>をクリックして 読み込みたいデータを表示させます。</p>
<p>5.</p>	<p>読み込みたいデータが表示されました、読み込み実行をクリックします。</p>
<p>6.</p>	<p>「ただいま通信中です。しばらくお待ちください。」のメッセージが表示されます。</p> <div data-bbox="783 454 1207 542" style="border: 1px solid blue; padding: 5px; text-align: center;"> <p>ただいま通信中です。しばらくお待ちください。</p> </div>
<p>7.</p>	<div data-bbox="289 581 1177 894" style="border: 2px solid blue; padding: 10px;"> <p>S500より参考値データ読み込み</p> <p>002 サニー B15型系 QG15DE '98.10~</p> <p>車種名 サニー 車種形式 B15型系</p> <p>エンジン形式 QG15DE 年式 '98.10~</p> <p>走行距離</p> <p>コメント</p> <p style="text-align: center;"> <input type="button" value="参考値の保存"/> <input type="button" value="S500の参考値削除"/> <input type="button" value="読み込み実行"/> <input type="button" value="戻る"/> </p> </div>
	<p>S500本体の参考値データの読み込みが完了しました。</p>

参考値データの保存

1.

S500より参考値データ読み込み

002 サニー B15型系 QG15DE '98.10~

車種名 サニー 車種形式 B15型系

エンジン形式 QG15DE 年式 '98.10~

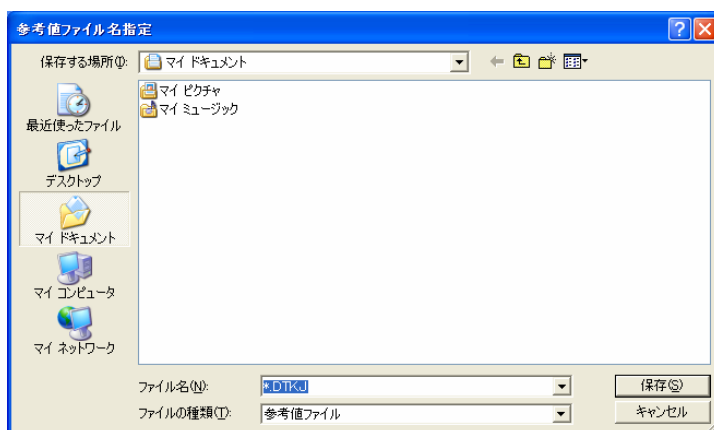
走行距離

コメント

参考値の保存 S500の参考値削除 読み込み実行 戻る

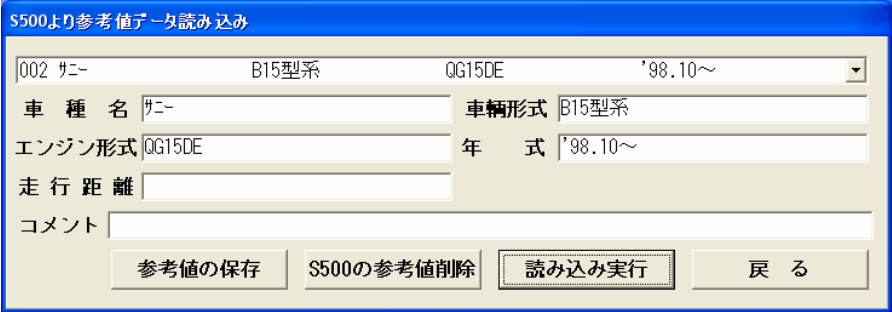
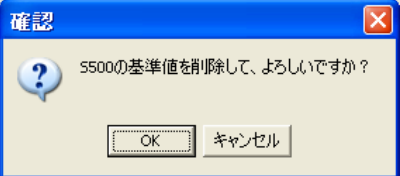
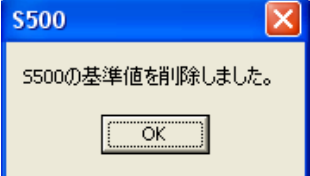
参考値データを保存する場合は、参考値を読み込んだ後、**参考値の保存**をクリックします。

2.



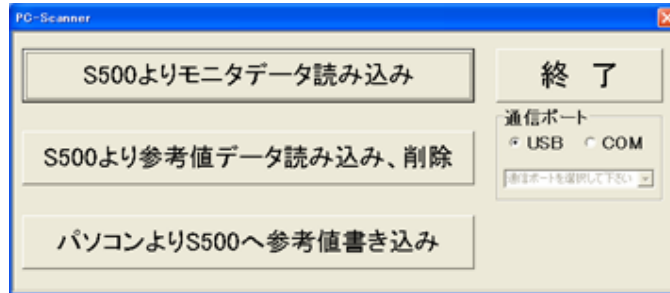
「参考値ファイル名の指定」ウィンドウが表示されますのでファイル名を入力して、**保存(S)**をクリックします。

参考値データの削除

<p>1.</p>		
<p>2.</p>	<p>S500より参考値データを読み込み、S500の参考値削除をクリックします。</p>	
<p>3.</p>	<p>「確認」ウィンドウが表示され、「S500の基準値を削除して、よろしいですか?」と確認してきますので、よろしければ、OKをクリックします。</p>	
<p>4.</p>	<p>「S500の基準値を削除しました。」のメッセージが表示され、S500本体の参考値データが削除されました。</p>	

パソコンよりS500へ参考値書き込み

1.



メイン画面で **パソコンよりS500へ参考値書き込み** をクリックします。

2.

パソコンよりS500へ参考値書き込み

ファイル名

車種名 車種形式

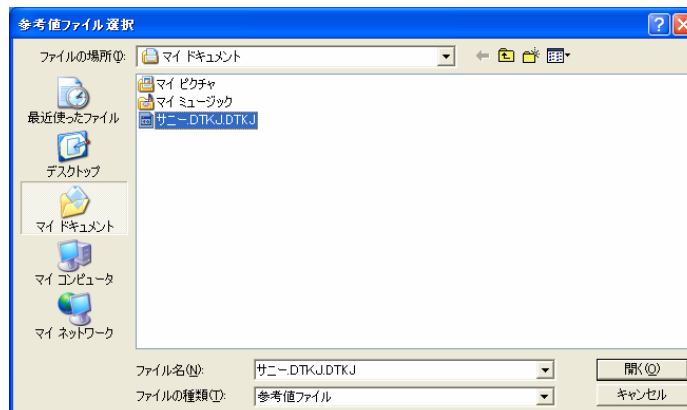
エンジン形式 年式

走行距離

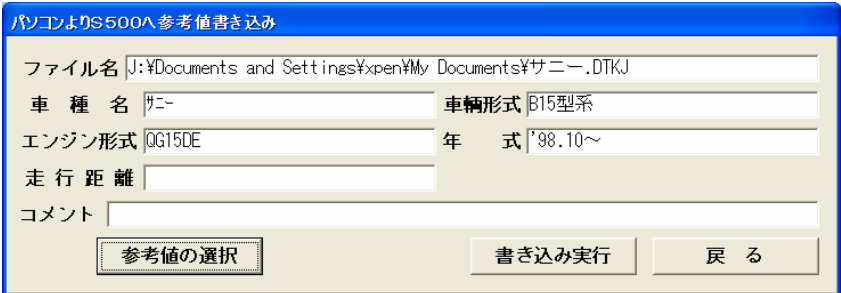

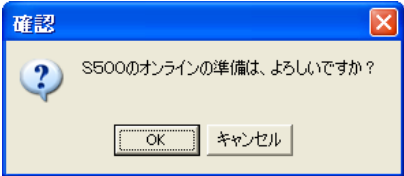
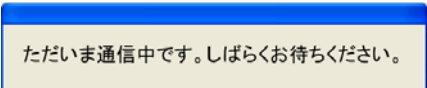
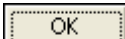
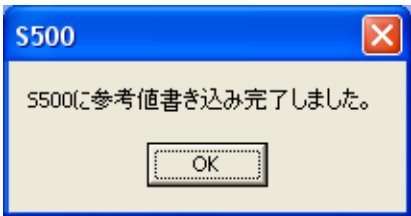
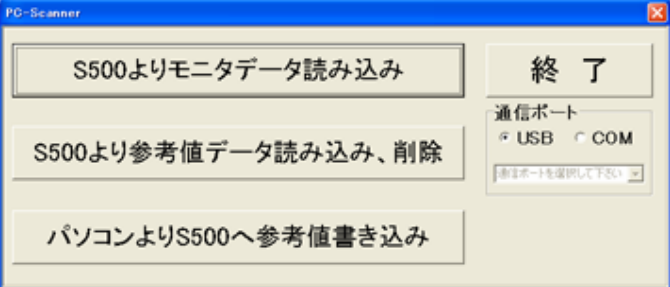
コメント

参考値の選択 をクリックして書き込むファイルを選択します。

3.



「参考値ファイル選択」ウィンドウが表示されます。
書き込むファイルを選択して **開く(O)** をクリックします。

<p>4.</p>		
	<p>選択したファイルの情報が表示されます。 書き込み実行 をクリックします。</p>	
<p>5.</p>	<p>S500が通信可能状態か聞いてきますので、通信可能な場合は  をクリックします。</p>	
<p>6.</p>	<p>S500との通信が始まります。</p>	
<p>7.</p>	<p>通信が完了すると右のようなウィンドウが表示されます。  をクリックするとメインメニューに戻ります。</p>	
<p>8.</p>		
	<p>スタート画面に戻ります。</p>	

保証

PC SCANNER の保証期間は購入頂いた日より1年間です。

免責事項

- 火災・地震・第三者による行為その他の事故により PC SCANNER に不具合が生じた場合。
- お客様の故意・過失・誤用・異常な条件での利用で、PC SCANNER に不具合が生じた場合。
- PC SCANNER および付属品へのご利用方法に起因した損害が発生した場合。
- お客様によって PC SCANNER および付属品への改造・修理がなされた場合。